

設置年度 令和 3年度  
計画の区分： 学部の設置  
注1



注2  
立正大学 データサイエンス学部

## 【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人立正大学学園  
令和4年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	データサイエンス学部事務室
職名・氏名	事務長 <small>ミスカミ ツヨシ</small> 水上 剛
電話番号	048-539-1426
（夜間）	048-539-1426
e-mail	newfac@ris.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。  
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

データサイエンス学部

＜データサイエンス学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	33
4. 既設大学等の状況	34
5. 教員組織の状況	37
6. 附帯事項等に対する履行状況等	70
7. その他全般的事項	77

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 立正大学学園

## (2) 大学名 立正大学

## (3) 調査対象大学等の位置

熊谷キャンパス

〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉1700番地

(品川キャンパス 〒141-8602 東京都品川区大崎4丁目2番16号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(モチヅキ ケンユウ) 望月 兼雄 (平成30年4月)		
学長	(ヨシカワ ヒロシ) 吉川 洋 (平成31年4月)	(テラオ エイチ) 寺尾 英智 (令和4年4月)	任期満了のため 令和4年4月1日交代(4)
学部長	(キタムラ ユキノブ) 北村 行伸 (令和3年4月)		
学科長等	該当なし		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」を確認してください)。  
 ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
データサイエンス学部 データサイエンス学科 学士(データサイエンス学)	経済学関係  理学関係	4年	240人	年次	960人		
		年	人	人	人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	—人 ( — ) [ — ]	—人 ( — ) [ — ]	—人 ( — ) [ — ]	—人 ( — ) [ — ]	—人 ( — ) [ — ]	—人 ( — ) [ — ]	240人 ( — ) [ — ]	—人 ( — ) [ — ]	240人 ( — ) [ — ]	—人 ( — ) [ — ]	0.91倍	一倍	令和3年度の留学生数に関して、新型コロナウイルス感染症の影響により在留資格「留学」を取得できず、自国でオンライン授業を受講していた学生1名が、令和4年3月に在留資格「留学」を取得し、入国できたため2名に変更。
志願者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	605 ( — ) [ 2 ]	— ( — ) [ — ]	685 ( — ) [ 2 ]	— ( — ) [ — ]			
受験者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	578 ( — ) [ 2 ]	— ( — ) [ — ]	644 ( — ) [ 2 ]	— ( — ) [ — ]			
合格者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	430 ( — ) [ 2 ]	— ( — ) [ — ]	445 ( — ) [ 2 ]	— ( — ) [ — ]			
B 入学者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	214 ( — ) [ 2 ]	— ( — ) [ — ]	225 ( — ) [ 2 ]	— ( — ) [ — ]			
入学定員超過率 B/A	—		—		—		0.89		0.93				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	209 [ 1 ] (—)	— [ — ] (—)	225 [ 2 ] (—)	— [ — ] (—)	令和3年度の留学生数に関して、新型コロナウイルス感染症の影響により在留資格「留学」を取得できず、自国でオンライン授業を受講していた学生1名が、令和4年3月に在留資格「留学」を取得し、入国。別途、入国済みで在留資格「留学」を確認出来ていた別の留学生1名が3月に退学。
2年次	/		— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	209 [ 1 ] (—)	— [ — ] (—)	
3年次	/		/		— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	
4年次	/		/		/		— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	
計	— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	— [ — ] (—)	209 [ 1 ] (—)	— [ — ] (—)	434 [ 3 ] (—)	— [ — ] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	214 人	5 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	5 人	1 人	他の教育機関への入学(2人)、経済的な事情(1人)、学生個人の心身に関する事情(1人)、[その他(1人)]
令和4年度	434 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		5 人		5 人	1 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{214} = \boxed{2.33} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{434} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<データサイエンス学部 データサイエンス学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養的科目 科目群 レクチャーズ	学修の基礎 I	1前	2			1						
	学修の基礎 II	1後	2			1						
	情報処理の基礎	1前	2			1			2			
	基礎英語 I	1前	2				1					兼3
	基礎英語 II	1後	2				1					兼3
	小計(5科目)	—	10			2	1	0	2	0		兼3
教養的科目 科目群 外国語コミュニケーション科目群	実践英語 I	2前	2				1					兼4
	実践英語 II	2後	2				1					兼4
	実践英語 III	3前		2								兼1
	実践英語 IV	3後		2								兼1
	ドイツの言語と文化 I	1前		2								兼1
	ドイツの言語と文化 II	1後		2								兼1
	フランスの言語と文化 I	1前		2								兼1
	フランスの言語と文化 II	1後		2								兼1
	中国の言語と文化 I	1前		2								兼1
	中国の言語と文化 II	1後		2								兼1
	コリアの言語と文化 I	1前		2								兼1
	コリアの言語と文化 II	1後		2								兼1
	特別語学演習 I	1通		2								兼1
	特別語学演習 II	1通		2								兼1
	特別語学演習 III	1通		2								兼1
	特別語学演習 IV	1通		2								兼1
	総合語学演習 I	1通		2								兼1
	総合語学演習 II	1通		2								兼1
	総合語学演習 III	1通		2								兼1
	総合語学演習 IV	1通		2								兼1
日本の自然と風土	1前		2								兼1	
日本の生活と文化	1後		2								兼1	
実践日本語 I	1前		2								兼2	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養的科目 科目群 レクチャーズ	学修の基礎 I	1前	2			1						
	学修の基礎 II	1後	2				1					
	情報処理の基礎	1前	2				1			2		
	基礎英語 I	1前	2					1				兼4
	基礎英語 II	1後	2					1				兼4
	小計(5科目)	—	10	0	0	2	1	0	2	0		兼4
教養的科目 科目群 外国語コミュニケーション科目群	実践英語 I	2前	2				1					兼3
	実践英語 II	2後	2				1					兼3
	実践英語 III	3前		2								兼1
	実践英語 IV	3後		2								兼1
	ドイツの言語と文化 I	1前		2								兼1
	ドイツの言語と文化 II	1後		2								兼1
	フランスの言語と文化 I	1前		2								兼1
	フランスの言語と文化 II	1後		2								兼1
	中国の言語と文化 I	1前		2								兼1
	中国の言語と文化 II	1後		2								兼1
	コリアの言語と文化 I	1前		2								兼1
	コリアの言語と文化 II	1後		2								兼1
	特別語学演習 I (未開講)	1通		2								兼1
	特別語学演習 II (未開講)	1通		2								兼1
	特別語学演習 III (未開講)	1通		2								兼1
	特別語学演習 IV (未開講)	1通		2								兼1
	総合語学演習 I (未開講)	1通		2								兼1
	総合語学演習 II (未開講)	1通		2								兼1
	総合語学演習 III (未開講)	1通		2								兼1
	総合語学演習 IV (未開講)	1通		2								兼1
日本の自然と風土 (未開講)	1前		2								兼1	
日本の生活と文化	1前		2								兼1	
実践日本語 I	1前		2								兼2	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	実践日本語Ⅱ	1後		2							兼2
	小計(24科目)	—	4	44	0	0	1	0	0	0	兼11
教養的科目 / 一般教育科目群 / 人文	哲学とは何か	1前		2							兼2
	哲学の基本諸問題	1後		2							兼2
	仏教の思想と歴史	1前		2							兼1
	現代社会と仏教	1後		2							兼1
	歴史学概説	1前		2			1				兼1
	史学方法論	1後		2			1				兼1
	文学入門	1前		2							兼1
	比較文学論	1後		2							兼1
	心理学概説Ⅰ	1前		2				1			
	心理学概説Ⅱ	1後		2				1			
	発達心理学入門	1前		2				1			兼1
	臨床心理学入門	1後		2				1			
	生涯発達心理学	2後		2				1			
小計(13科目)	—	0	26	0	0	1	1	0	0	兼6	
教養的科目 / 一般教育科目群 / 社会	法学入門[日本国憲法を含む]	1前		2							兼1
	法律学概説	1後		2							兼1
	民法入門	1前		2			1				
	不法行為法入門	3前		2			1				
	契約法入門	2後		2			1				
	政治学概説	1前		2							兼1
	現代日本の政治と社会	1後		2							兼1
	経済学概説	1前		2							兼1
	現代日本の経済と社会	1後		2							兼1
	社会学概説	1前		2			1				
	環境社会学入門	1後		2							兼1
社会心理学入門	1後		2							兼1	
小計(12科目)	—	0	24	0	1	1	0	0	0	兼6	
教養的科目 / 一般	近代科学の成立	1前		2							兼1
	物理学の世界	1後		2			1				
	生物学の世界	1前		2							兼1
	生物多様性と社会	1後		2							兼1

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	実践日本語Ⅱ	1後		2							兼2
	小計(24科目)	—	4	44	0	0	1	0	0	0	兼12
教養的科目 / 一般教育科目群 / 人文	哲学とは何か	1前		2							兼2
	哲学の基本諸問題	1後		2							兼2
	仏教の思想と歴史	1前		2							兼1
	現代社会と仏教	1後		2							兼1
	歴史学概説	1前		2				1			
	史学方法論	1後		2				1			
	文学入門	1前		2							兼1
	比較文学論	1後		2							兼1
	心理学概説Ⅰ	1前		2					1		
	心理学概説Ⅱ	1後		2					1		
	発達心理学入門	1前		2					1		
	臨床心理学入門	1後		2					1		
	生涯発達心理学	2後		2					1		
小計(13科目)	—	0	26	0	0	1	1	0	0	兼4	
教養的科目 / 一般教育科目群 / 社会	法学入門[日本国憲法を含む]	1前		2							兼1
	法律学概説	1後		2							兼1
	民法入門	1前		2				1			
	不法行為法入門	3前		2				1			
	契約法入門	2後		2				1			
	政治学概説	1前		2							兼1
	現代日本の政治と社会	1後		2							兼1
	経済学概説	1前		2							兼1
	現代日本の経済と社会	1後		2							兼1
	社会学概説	1前		2					1		
	環境社会学入門	1前		2							兼1
社会心理学入門	1後		2							兼1	
小計(12科目)	—	0	24	0	1	1	0	0	0	兼6	
教養的科目 / 一般	近代科学の成立 (未開講)	1前		2							兼1
	物理学の世界	1後		2				1			
	生物学の世界	1前		2							兼1
	生物多様性と社会 (未開講)	1後		2							兼1



【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教育科目群 / 自然	環境科学	1前		2				1				
	気象と社会	1後		2				1				
	基礎数学	1前		2								兼1
	基礎統計学	1前		2								兼1
	小計(8科目)	—	0	16	0	1	0	1	0	0		兼4
教養的科目 / スポーツと健康科学科目群	スポーツと科学	1前		2				1				
	健康スポーツ実習1	1前		1				1				兼1
	健康スポーツ実習2	1後		1				1				兼1
	健康スポーツ野外実習	2前		1				1				
	小計(4科目)	—	0	5	0	0	0	1	0	0		兼1
教養的科目 / キャリア科目群	キャリア開発基礎講座Ⅰ	1前		2								兼1
	キャリア開発基礎講座Ⅱ	1後		2								兼1
	キャリア開発基礎講座Ⅲ	3前		2								兼1
	小計(3科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0		兼3
専門科目 / 専門基礎科目群	データサイエンス入門	1前	2			4		1				
	データサイエンティストの世界	1後	2			1						
	情報倫理	1前	2			1						
	インターネットと法	1後		2			1					
	AI入門Ⅰ	1前	2			1						
	AI入門Ⅱ	1後	2			1						
	微分積分学	1前	2			1						
	微分積分学演習	1後	2			1						兼4
	情報科学Ⅰ	1後	2			1						
	情報処理の応用	1後		2		1		1				
	プログラミング基礎	1前	2			1						
	プログラミング基礎実習	1後	2			1			2			
	社会調査の基礎	1後		2				1				
	社会と統計	1後		2			1					
	ミクロ経済学	1前	2			1						
マクロ経済学	1後	2			1							
経営学	1後	2			1							
データサイエンスと価値創造	1前	2			1							
観光学	1後		2		1							

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教育科目群 / 自然	環境科学	1前		2				1				
	気象と社会	1後		2				1				
	小計(6科目)	—	0	12	0	1	0	1	0	0		兼3
教養的科目 / スポーツと健康科学科目群	スポーツと科学	1前		2				1				
	健康スポーツ実習1	1前		1				1				兼1
	健康スポーツ実習2	1後		1				1				兼1
	健康スポーツ野外実習	2前		1				1				
	小計(4科目)	—	0	5	0	0	0	1	0	0		兼1
教養的科目 / キャリア科目群	キャリア開発基礎講座Ⅰ	1前		2								兼1
	キャリア開発基礎講座Ⅱ	1後		2								兼1
	キャリア開発基礎講座Ⅲ	3前		2								兼1
	小計(3科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0		兼3
専門科目 / 専門基礎科目群	データサイエンス入門	1前	2			4		1				
	データサイエンティストの世界	1後	2			1						
	情報倫理	1前	2			1						
	インターネットと法	1後		2			1					
	AI入門Ⅰ	1前	2			1						
	AI入門Ⅱ	1後	2			1						
	微分積分学	1前	2			1						
	微分積分学演習	1後	2			1						兼5
	情報科学Ⅰ	1後	2			1						
	情報処理の応用	1後		2		1		1				
	プログラミング基礎	1前	2			1						
	プログラミング基礎実習	1後	2			1			2			
	社会調査の基礎	1後		2				1				
	社会と統計	1後		2			1					
	ミクロ経済学	1前	2			1						
マクロ経済学	1後	2			1							
経営学	1後	2			1							
データサイエンスと価値創造	1前	2			1							
観光学	1後		2		1							

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	自然科学	1後		2		3		2			
	アスリートのためのデータサイエンス	1後		2		1					
	トレーニング科学	1後		2				2			
	小計(22科目)	—	28	16	0	12	2	5	2	0	兼4
専門科目 / データサイエンス科目群 / データサイエンス基礎	情報科学Ⅱ	2前		2		1					
	情報と職業	2後		2							兼1
	デジタル社会のデータリテラシー	2前		2		1					
	情報セキュリティ	2後		2		1					
	ネットワーク理論	2後		2		1					
	マルチメディア基礎	2前		2							兼1
	マルチメディア実習	2後		2							兼1
	データベース基礎	2前	2			1					
	データベース演習	2後		2		1					
	機械学習Ⅰ	2後		2		1					
	プログラミング応用	2前		2							兼1
	プログラミング応用実習	2後		2				2			
	線形代数学	2前	2			1					
	線形代数学演習	2後	2			1					兼3
	統計学Ⅰ	2前	2			1					
	統計学Ⅱ	2後	2			1					
	統計学実習Ⅰ	2前	2					2			兼4
	統計学実習Ⅱ	2後	2								兼6
	統計調査法	2前		2		1					
	社会調査の設計と実査	2後		2		1					
小計(20科目)	—	14	26	0	7	0	0	2	0	兼7	
専門科目 / データサイエンス科目	データサイエンス特論	3前		2		1					
	情報と産業	3前		2							兼1
	インターネットデータ収集技術	3前		2		1					
	機械学習Ⅱ	3前		2		1					
	テキストマイニングⅠ	3前		2		1					
	テキストマイニングⅡ	3後		2		1					
	特徴量エンジニアリング	3後		2		1					
応用数学	3前		2		1						

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	自然科学	1後		2		3		2			
	アスリートのためのデータサイエンス	1後		2		1					
	トレーニング科学	1後		2				2			
	小計(22科目)	—	28	16	0	12	2	5	2	0	兼5
専門科目 / データサイエンス科目群 / データサイエンス基礎	情報科学Ⅱ	2前		2		1					
	情報と職業	2後		2							兼1
	デジタル社会のデータリテラシー	2前		2		1					
	情報セキュリティ	2後		2		1					
	ネットワーク理論	2後		2		1					
	マルチメディア基礎	2前		2							兼1
	マルチメディア実習	2後		2							兼1
	データベース基礎	2前	2			1					
	データベース演習	2後		2		1					
	機械学習Ⅰ	2後		2		1					
	プログラミング応用	2前		2							兼1
	プログラミング応用実習	2後		2					2		
	線形代数学	2前	2			1					
	線形代数学演習	2後	2			1					兼4
	統計学Ⅰ	2前	2			1					
	統計学Ⅱ	2後	2			1					
	統計学実習Ⅰ	2前	2					2			兼3
	統計学実習Ⅱ	2後	2								兼5
	統計調査法	2前		2		1					
	社会調査の設計と実査	2後		2		1					
小計(20科目)	—	14	26	0	7	0	0	2	0	兼9	
専門科目 / データサイエンス科目	データサイエンス特論	3前		2		1					
	情報と産業	3前		2							兼1
	インターネットデータ収集技術	3前		2		1					
	機械学習Ⅱ	3前		2		1					
	テキストマイニングⅠ	3前		2		1					
	テキストマイニングⅡ	3後		2		1					
	特徴量エンジニアリング	3後		2		1					
応用数学	3前		2		1						

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
百群/データサイエンス発展	統計学Ⅲ	3前		2		1						
	統計学Ⅳ	3後		2		1						
	統計学実習Ⅲ	3前		2		1						
	統計学実習Ⅳ	3後		2		1						
	質的データ解析実習	3後		2								兼1
	社会調査実習Ⅰ	3前		2		1						
	社会調査実習Ⅱ	3後		2		1						
小計(15科目)		—	0	30	0	7	0	0	0	0	0	兼1
専門科目/価値創造科目群/価値創造基礎	計量経済学	2前		2								兼1
	応用計量経済学	2後		2		1						
	経済指標の読み方	2前		2			1					
	地域経済	2前		2		1						
	地域分析	2後		2								兼1
	金融リテラシー	2前		2			1					
	経営管理	2前		2		1						
	経営戦略	2後		2		1						
	経営組織	2後		2		1						
	観光経済学	2前		2		1						
	観光統計	2前		2		1						
	観光データ分析	2後		2		1						
	スポーツツーリズム	2後		2								兼1
	国際観光政策	2後		2								兼1
	データ分析のための物理Ⅰ	2前		2				1				
	データ分析のための物理Ⅱ	2後		2				1				
	気象学	2後		2				1				
	計量犯罪学	2前		2		1						
	空間情報システム学	2前		2		1						
	空間情報システム学実習	2後		2		1						
統計データと地図表現	2後		2				1					
スポーツデータ分析のためのプログラミング	2前		2				1					
データによる戦術・戦略Ⅰ	2前		2				1				兼4	
データによる戦術・戦略Ⅱ	2後		2				1				兼4	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
百群/データサイエンス発展	統計学Ⅲ	3前		2		1						
	統計学Ⅳ	3後		2		1						
	統計学実習Ⅲ	3前		2		1						
	統計学実習Ⅳ	3後		2		1						
	質的データ解析実習	3後		2								兼1
	社会調査実習Ⅰ	3前		2		1						
	社会調査実習Ⅱ	3後		2		1						
小計(15科目)		—	0	30	0	7	0	0	0	0	0	兼1
専門科目/価値創造科目群/価値創造基礎	計量経済学	2前		2								兼1
	応用計量経済学	2後		2		1						
	経済指標の読み方	2前		2			1					
	地域経済	2前		2		1						
	地域分析	2後		2								兼1
	金融リテラシー	2前		2			1					
	経営管理	2前		2		1						
	経営戦略	2後		2		1						
	経営組織	2後		2		1						
	観光経済学	2前		2		1						
	観光統計	2前		2		1						
	観光データ分析	2後		2		1						
	スポーツツーリズム	2後		2								兼1
	国際観光政策	2後		2								兼1
	データ分析のための物理Ⅰ	2前		2				1				
	データ分析のための物理Ⅱ	2後		2				1				
	気象学	2後		2				1				
	計量犯罪学	2前		2		1						
	空間情報システム学	2前		2		1						
	空間情報システム学実習	2後		2		1						
統計データと地図表現	2後		2				1					
スポーツデータ分析のためのプログラミング	2前		2				1					
データによる戦術・戦略Ⅰ	2前		2				1				兼4	
データによる戦術・戦略Ⅱ	2後		2				1				兼4	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	コンディショニング演習	2前		2				2				
	コーチング演習	2後		2				1				
	小計(26科目)	—	0	52	0	6	1	5	0	0	兼8	
専門科目 / 価値創造科目群 / 価値創造発展	経済統計Ⅰ	3前		2			1					
	経済統計Ⅱ	3後		2			1					
	実証経済分析	3後		2		1						
	金融データ分析	3前		2			1					
	クオリティマネジメント	3前		2		1						
	イノベーションマネジメント	3前		2		1						
	計量マーケティング	3前		2		1						
	グローバルビジネス	3後		2		1						
	サービスデータサイエンス	3後		2		1						
	EBPM	3前		2		1						
	観光マーケティング	3前		2		1						
	観光リスクマネジメント	3前		2		1						
	ホスピタリティマネジメント	3後		2							兼1	
	気象データ解析法	3前		2				1				
	気象データ解析実習	3後		2				1				
	リモートセンシング	3前		2		1						
	社会応用データサイエンス	3前		2							兼1	
	空中写真の利用と活用	3前		2				1				
	データビジュアライゼーション	3後		2		1						
	不動産データ分析	3後		2		1						
	数理モデリングとシミュレーション [社会・経済]	3前		2				1				
	数理モデリングとシミュレーション [気象]	3後		2				1				
	スポーツアナリティクスⅠ	3前		2		1		1				
	スポーツアナリティクスⅡ	3後		2		1		1				
	スポーツモニタリング	3前		2				2				
	データサイエンスによるスポーツコーチング	3後		2				2				
小計(26科目)	—	0	52	0	8	1	5	0	0	兼2		
専門科目	フィールドワーク	2通		2		1		1				
	インターンシップ	2通		2				1				
	ゼミナールⅠ	3前	2			13	3	6				

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	コンディショニング演習	2前		2				2				
	コーチング演習	2後		2				1				
	小計(26科目)	—	0	52	0	6	1	5	0	0	兼8	
専門科目 / 価値創造科目群 / 価値創造発展	経済統計Ⅰ	3前		2			1					
	経済統計Ⅱ	3後		2			1					
	実証経済分析	3後		2		1						
	金融データ分析	3前		2			1					
	クオリティマネジメント	3前		2		1						
	イノベーションマネジメント	3前		2		1						
	計量マーケティング	3前		2		1						
	グローバルビジネス	3後		2		1						
	サービスデータサイエンス	3後		2		1						
	EBPM	3前		2		1						
	観光マーケティング	3前		2		1						
	観光リスクマネジメント	3前		2		1						
	ホスピタリティマネジメント	3後		2							兼1	
	気象データ解析法	3前		2				1				
	気象データ解析実習	3後		2				1				
	リモートセンシング	3前		2		1						
	社会応用データサイエンス	3前		2							兼1	
	空中写真の利用と活用	3前		2				1				
	データビジュアライゼーション	3後		2		1						
	不動産データ分析	3後		2		1						
	数理モデリングとシミュレーション [社会・経済]	3前		2				1				
	数理モデリングとシミュレーション [気象]	3後		2				1				
	スポーツアナリティクスⅠ	3前		2		1		1				
	スポーツアナリティクスⅡ	3後		2		1		1				
	スポーツモニタリング	3前		2				2				
	データサイエンスによるスポーツコーチング	3後		2				2				
小計(26科目)	—	0	52	0	8	1	5	0	0	兼2		
専門科目	フィールドワーク	2通		2		1		1				
	インターンシップ	2通		2				1				
	ゼミナールⅠ	3前	2			13	3	6				

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
目 / 演習科目群	ゼミナールⅡ	3後	2			13	3	6			
	ゼミナールⅢ	4前	2			13	3	6			
	ゼミナールⅣ	4後	2			13	3	6			
	卒業研究・卒業論文	4通	4			13	3	6			
	小計(7科目)	—	12	4	0	13	3	6	0	0	0
自由科目	教育学の基礎	1前			2						兼3
	教育史	2後			2						兼1
	教職概論	1後			2						兼4
	教育行政学	2前			2						兼2
	教育法学	2後			2						兼1
	生涯学習概論Ⅰ	2前			2						兼2
	生涯学習概論Ⅱ	2後			2						兼2
	教育社会学	3後			2						兼1
	教職特講	3前			2						兼2
	教育心理学	1前			2						兼2
	学習心理学	3前			2						兼2
	青年心理学	3後			2						兼2
	特別支援教育概論	2前			2			1			
	カリキュラム論	2前			2						兼1
	道德教育の理論と実践	2前			2						兼1
	教育方法論Ⅰ(総合的な学習の時間の指導法を含む)	2前			2						兼1
	特別活動論	2前			2						兼2
	教育方法論Ⅱ	2後			2			1			兼1
	生徒理解と教育相談	1後			2						兼2
	生徒・進路指導論	2前			2						兼2
	教育実習(事前指導)	3前			2			1			兼2
	教育実習Ⅰ	4通			4			1			兼2
	教育実習Ⅱ	4通			2			1			兼2
教職実践演習[中・高]	4後			2			1			兼2	
教職演習	3後			2			1			兼2	
情報教育論Ⅰ	3前			2						兼1	
情報教育論Ⅱ	3後			2						兼1	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
目 / 演習科目群	ゼミナールⅡ	3後	2			13	3	6			
	ゼミナールⅢ	4前	2			13	3	6			
	ゼミナールⅣ	4後	2			13	3	6			
	卒業研究・卒業論文	4通	4			13	3	6			
	小計(7科目)	—	12	4	0	13	3	6	0	0	0
自由科目	教育学の基礎	1前			2						兼2
	教育史	2前			2						兼1
	教職概論	1後			2						兼3
	教育行政学	2前			2						兼1
	教育法学	2後			2						兼1
	生涯学習概論Ⅰ	2前			2						兼2
	生涯学習概論Ⅱ	2後			2						兼2
	教育社会学	3後			2						兼1
	教職特講	3前			2						兼2
	教育心理学	1前			2						兼2
	学習心理学	3前			2						兼2
	青年心理学	3後			2						兼2
	特別支援教育概論	2前			2			1			
	カリキュラム論	2前			2						兼1
	道德教育の理論と実践	2前			2						兼1
	教育方法論Ⅰ(総合的な学習の時間の指導法を含む)	2前			2						兼1
	特別活動論	2前			2						兼2
	教育方法論Ⅱ	2後			2			1			兼1
	生徒理解と教育相談	1前			2						兼1
	生徒・進路指導論	2前			2						兼1
	教育実習(事前指導)	3前			2			1			兼2
	教育実習Ⅰ	4通			4			1			兼2
	教育実習Ⅱ	4通			2			1			兼2
教職実践演習[中・高]	4後			2			1			兼2	
教職演習	3後			2			1			兼2	
情報教育論Ⅰ	3前			2						兼1	
情報教育論Ⅱ	3後			2						兼1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	社会教育経営論Ⅰ	2前			2						兼1
	社会教育経営論Ⅱ	2後			2						兼1
	生涯学習支援論Ⅰ	2前			2						兼1
	生涯学習支援論Ⅱ	2後			2						兼1
	社会教育実習	2通			1						兼1
	現代社会と社会教育	2前			2						兼1
	社会教育行政論	2後			2						兼1
	社会教育活動論	2前			2						兼1
	社会教育施設論	2後			2						兼1
	社会教育演習Ⅰ	2前			2						兼1
	社会教育演習Ⅱ	2後			2						兼1
	社会教育課題研究Ⅰ	2前			2						兼1
	社会教育課題研究Ⅱ	2後			2						兼1
	博物館概論	1前			2						兼2
	博物館教育論	1後			2						兼3
	博物館資料論	2前			2						兼3
	博物館経営論	2前			2						兼2
	博物館資料保存論	3前			2						兼2
	博物館展示論	3前			2						兼3
	博物館情報・メディア論	3前			2						兼2
	館務実習	4通			1						兼2
	考古学1	2前			2						兼1
	考古学2	2後			2						兼1
	文化史1	2前			2						兼1
	文化史2	2後			2						兼1
	民俗学1	3前			2						兼1
	民俗学2	3後			2						兼1
	美術史1	3前			2						兼1
	美術史2	3後			2						兼1
	日本美術史1	3前			2						兼1
	日本美術史2	3後			2						兼1

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	社会教育経営論Ⅰ	2前			2						兼1
	社会教育経営論Ⅱ	2後			2						兼1
	生涯学習支援論Ⅰ	2前			2						兼1
	生涯学習支援論Ⅱ	2後			2						兼1
	社会教育実習	2通			1						兼1
	現代社会と社会教育	2前			2						兼1
	社会教育行政論	2後			2						兼1
	社会教育活動論	2前			2						兼1
	社会教育施設論	2後			2						兼1
	社会教育演習Ⅰ	2前			2						兼1
	社会教育演習Ⅱ	2後			2						兼1
	社会教育課題研究Ⅰ	2前			2						兼1
	社会教育課題研究Ⅱ	2後			2						兼1
	博物館概論	1前・後			2						兼2
	博物館教育論	1後			2						兼3
	博物館資料論	2前・後			2						兼3
	博物館経営論	2前・後			2						兼2
	博物館資料保存論	3前			2						兼2
	博物館展示論	3前			2						兼3
	博物館情報・メディア論	3前			2						兼2
	館務実習	4通			1						兼2
	考古学1	2前			2						兼1
	考古学2	2後			2						兼1
	文化史1	2前			2						兼1
	文化史2	2後			2						兼1
	民俗学1	3前			2						兼1
	民俗学2	3後			2						兼1
	美術史1	3前			2						兼1
	美術史2	3後			2						兼1
	日本美術史1	3前			2						兼1
	日本美術史2	3後			2						兼1

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	考古学概論	2前			2						兼1
	文化財保存論	2後			2						兼1
	文化史概論	2前			2						兼1
	生活文化史	2後			2						兼1
	民俗学概論	2前			2						兼1
	民俗調査法	2後			2						兼1
	美術史概論	2前			2						兼1
	現代美術論	2後			2						兼1
	自然観の変遷	1後			2						兼1
	基礎生物学	1前			2						兼1
	生物学 I	1後			2						兼1
	基礎地学	1前			2						兼1
	地学 I	1後			2						兼1
	博物館実習[考古]	4前			1						兼2
	博物館実習[古文書]	4前			1						兼2
	博物館実習[美術]	4前			1						兼1
	博物館実習[自然]	4前			1						兼2
	施設見学実習1	3通			1						兼1
	施設見学実習2	3通			1						兼1
	施設見学実習3	3通			1						兼1
	図書館概論	1前			2						兼2
	図書・図書館史	2前			2						兼1
	図書館情報技術論	2前			2						兼1
	図書館サービス概論	2後			2						兼1
	情報サービス論	2前			2						兼1
	児童サービス論	2前			2						兼1
	図書館情報資源概論	1前			2						兼1
	情報資源組織論	2前			2						兼1
	図書館制度・経営論	3前			2						兼1
	情報サービス演習1	3前			1						兼1
	情報サービス演習2	3後			1						兼1

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	考古学概論	2前			2						兼1
	文化財保存論	2後			2						兼1
	文化史概論	2前			2						兼1
	生活文化史	2後			2						兼1
	民俗学概論(未開講)	2前			2						兼1
	民俗調査法(未開講)	2後			2						兼1
	美術史概論	2前			2						兼1
	現代美術論	2後			2						兼1
	自然観の変遷	1後			2						兼1
	基礎生物学	1前			2						兼1
	生物学 I	1後			2						兼1
	基礎地学	1前			2						兼1
	地学 I	1後			2						兼1
	博物館実習[考古]	4前			1						兼2
	博物館実習[古文書]	4前			1						兼2
	博物館実習[美術]	4前			1						兼1
	博物館実習[自然]	4前			1						兼2
	施設見学実習1	3通			1						兼1
	施設見学実習2	3通			1						兼1
	施設見学実習3	3通			1						兼1
	図書館概論	1前・後			2						兼2
	図書・図書館史	2前・後			2						兼1
	図書館情報技術論	2前・後			2						兼1
	図書館サービス概論	2後			2						兼1
	情報サービス論	2前・後			2						兼1
	児童サービス論	2前・後			2						兼1
	図書館情報資源概論	1前・後			2						兼1
	情報資源組織論	2前・後			2						兼1
	図書館制度・経営論	3前			2						兼1
	情報サービス演習1	3前			1						兼1
	情報サービス演習2	3後			1						兼1

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	情報資源組織演習1	3前			1						兼1
	情報資源組織演習2	3前			1						兼1
	図書館基礎特論	3前			2						兼1
	図書館情報資源特論	3前			2						兼1
	学校経営と学校図書館	2前			2						兼1
	学校図書館メディアの構成	3前			2						兼1
	学習指導と学校図書館	2後			2						兼1
	読書と豊かな人間性	3前			2						兼1
	情報メディアの活用	3前			2						兼1
	小計(98科目)	-	0	0	185	0	0	1	0	0	兼51
	合計(283科目)	-	68	301	185	13	3	7	2	0	兼99
卒業要件及び履修方法											
<p>教養的科目24単位以上、専門科目80単位以上、これらの合計で124単位以上修得すること。                      教養的科目では、フレッシュャーズ科目群の必修10単位、外国語コミュニケーション科目群の必修4単位を含むこと。                      専門科目では、専門基礎科目群から必修を含む26単位以上、データサイエンス科目群データサイエンス基礎から必修を含む14単位以上、同科目群データサイエンス発展から4単位以上、価値創造科目群価値創造基礎から6単位以上、同科目群価値創造発展から4単位以上、演習科目群から必修を含む12単位以上を修得すること。                      なお、配当年次は、履修開始学年を示す。(年間履修登録単位の上限:1年次42単位(半期CAP24単位)、2年次44単位(半期CAP26単位)、3年次44単位(半期CAP26単位)、4年次36単位(半期CAP22単位))</p>											

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	情報資源組織演習1	3前			1						兼1
	情報資源組織演習2	3前			1						兼1
	図書館基礎特論	3前			2						兼1
	図書館情報資源特論	3前			2						兼1
	学校経営と学校図書館	2前			2						兼1
	学校図書館メディアの構成	3前			2						兼1
	学習指導と学校図書館	2後			2						兼1
	読書と豊かな人間性	3前			2						兼1
	情報メディアの活用	3前			2						兼1
	小計(98科目)	-	0	0	185	0	0	1	0	0	兼54
	合計(281科目)	-	68	297	185	13	3	7	2	0	兼103
卒業要件及び履修方法											
<p>教養的科目24単位以上、専門科目80単位以上、これらの合計で124単位以上修得すること。                      教養的科目では、フレッシュャーズ科目群の必修10単位、外国語コミュニケーション科目群の必修4単位を含むこと。                      専門科目では、専門基礎科目群から必修を含む28単位以上、データサイエンス科目群データサイエンス基礎から必修を含む14単位以上、同科目群データサイエンス発展から4単位以上、価値創造科目群価値創造基礎から6単位以上、同科目群価値創造発展から4単位以上、演習科目群から必修を含む12単位以上を修得すること。                      なお、配当年次は、履修開始学年を示す。(年間履修登録単位の上限:1年次42単位(半期CAP24単位)、2年次44単位(半期CAP26単位)、3年次44単位(半期CAP26単位)、4年次38単位(半期CAP22単位))</p>											



【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養的科目 / フレッシュヤーズ科目群	学修の基礎 I	1前	2			1						
	学修の基礎 II	1後	2			1						
	情報処理の基礎	1前	2			1			2			
	基礎英語 I	1前	2				1					兼3
	基礎英語 II	1後	2				1					兼3
	小計(5科目)	—	10	0	0	2	1	0	2	0		兼3
教養的科目 / 外国語コミュニケーション科目群	実践英語 I	2前	2				1					兼4
	実践英語 II	2後	2				1					兼4
	実践英語 III	3前		2								兼1
	実践英語 IV	3後		2								兼1
	ドイツの言語と文化 I	1前		2								兼1
	ドイツの言語と文化 II	1後		2								兼1
	フランスの言語と文化 I	1前		2								兼1
	フランスの言語と文化 II	1後		2								兼1
	中国の言語と文化 I	1前		2								兼1
	中国の言語と文化 II	1後		2								兼1
	コリアの言語と文化 I	1前		2								兼1
	コリアの言語と文化 II	1後		2								兼1
	特別語学演習 I (未開講)	1通		2								兼1
	特別語学演習 II (未開講)	1通		2								兼1
	特別語学演習 III (未開講)	1通		2								兼1
	特別語学演習 IV (未開講)	1通		2								兼1
	総合語学演習 I (未開講)	1通		2								兼1
総合語学演習 II (未開講)	1通		2								兼1	
総合語学演習 III (未開講)	1通		2								兼1	
総合語学演習 IV (未開講)	1通		2								兼1	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	日本の自然と風土	1前		2								兼1
	日本の生活と文化 (未開講)	1後		2								兼1
	実践日本語 I	1前		2								兼2
	実践日本語 II	1後		2								兼2
	小計(24科目)	—	4	44	0	0	1	0	0	0		兼11
教養的科目 / 一般教育科目群 / 人文	哲学とは何か	1前		2								兼2
	哲学の基本諸問題	1後		2								兼2
	仏教の思想と歴史	1前		2								兼1
	現代社会と仏教	1後		2								兼1
	歴史学概説	1前		2			1					
	史学方法論	1後		2			1					
	文学入門	1前		2								兼1
	比較文学論	1後		2								兼1
	心理学概説 I	1後		2				1				
	心理学概説 II	1後		2				1				
	発達心理学入門	1後		2				1				兼1
	臨床心理学入門	1後		2				1				
	生涯発達心理学	2後		2				1				
小計(13科目)	—	0	26	0	0	1	1	0	0		兼5	
教養的科目 / 一般教育科目群 / ..	法学入門[日本国憲法を含む]	1前		2								兼1
	法律学概説	1後		2								兼1
	民法入門	1前		2			1					
	不法行為法入門	3前		2			1					
	契約法入門	2後		2			1					
	政治学概説	1前		2								兼1
	現代日本の政治と社会	1後		2								兼1
経済学概説	1前		2								兼1	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
社会	現代日本の経済と社会	1後		2							兼1
	社会学概説	1前		2		1					
	環境社会学入門	1前		2							兼1
	社会心理学入門	1前		2							兼1
	小計(12科目)	—	0	24	0	1	1	0	0	0	兼6
教養的科目 / 一般教育科目群 / 自然	近代科学の成立	1後		2							兼1
	物理学の世界(未開講)	1後		2		1					
	生物学の世界(未開講)	1前		2							兼1
	生物多様性と社会	1後		2							兼1
	環境科学	1前		2				1			
	気象と社会	1後		2				1			
	小計(6科目)	—	0	12	0	1	0	1	0	0	兼3
教養的科目 / 学科目群 / スポーツと保健科	スポーツと科学	1前		2				1			
	健康スポーツ実習1	1前		1				1			兼1
	健康スポーツ実習2	1後		1				1			兼1
	健康スポーツ野外実習	2前		1				1			
	小計(4科目)	—	0	5	0	0	0	1	0	0	兼1
教養的科目 / キャリア	キャリア開発基礎講座Ⅰ	1前		2							兼1
	キャリア開発基礎講座Ⅱ	1後		2							兼1
	キャリア開発基礎講座Ⅲ	3前		2							兼1
	小計(3科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	兼3
	データサイエンス入門	1前	2			4		1			
	データサイエンティストの世界	1後	2			1					
	情報倫理	1前	2			1					
	インターネットと法	1後	2				1				
	AI入門Ⅰ	1前	2			1					

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門科目 / 専門基礎科目群	AI入門Ⅱ	1後	2			1						
	微分積分学	1前	2			1						
	微分積分学演習	1後	2			1						兼5
	情報科学Ⅰ	1後	2			1						
	情報処理の応用	1後		2		1		1				
	プログラミング基礎	1前	2			1						
	プログラミング基礎実習	1後	2			1			2			
	社会調査の基礎	1後		2				1				
	社会と統計	1後		2			1					
	ミクロ経済学	1前	2			1						
	マクロ経済学	1後	2			1						
	経営学	1後	2			1						
	データサイエンスと価値創造	1前	2			1						
	観光学	1後		2		1						
	自然科学(未開講)	1後	2			3		2				
	アスリートのためのデータサイエンス	1後	2			1						
	トレーニング科学	1後	2					2				
小計(22科目)	—	—	28	16	0	12	2	5	2	0		兼5
専門科目 / デイ	情報科学Ⅱ	2前		2		1						
	情報と職業	2後		2								兼1
	デジタル社会のデータリテラシー	2前		2		1						
	情報セキュリティ	2後		2		1						
	ネットワーク理論	2後		2		1						
	マルチメディア基礎	2前		2								兼1
	マルチメディア実習	2後		2								兼1
データベース基礎	2前		2		1							

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
データサイエンス科目群 / データサイエンス基礎	データベース演習	2後	2		1						
	機械学習 I	2後	2		1						
	プログラミング応用	2前	2								兼1
	プログラミング応用実習	2後	2					2			
	線形代数学	2前	2		1						
	線形代数学演習	2後	2		1						兼3
	統計学 I	2前	2		1						
	統計学 II	2後	2		1						
	統計学実習 I	2前	2					2			兼4
	統計学実習 II	2後	2								兼6
	統計調査法	2前	2		1						
	社会調査の設計と実査	2後	2		1						
小計(20科目)	—	14	26	0	7	0	0	2	0	兼7	
専門科目 / データサイエンス科目群 / データサイエンス発展	データサイエンス特論	3前	2		1						
	情報と産業	3前	2								兼1
	インターネットデータ収集技術	3前	2		1						
	機械学習 II	3前	2		1						
	テキストマイニング I	3前	2		1						
	テキストマイニング II	3後	2		1						
	特徴量エンジニアリング	3後	2		1						
	応用数学	3前	2		1						
	統計学 III	3前	2		1						
	統計学 IV	3後	2		1						
統計学実習 III	3前	2		1							
統計学実習 IV	3後	2		1							
質的データ解析実習	3後	2								兼1	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
	社会調査実習Ⅰ	3前		2		1					
	社会調査実習Ⅱ	3後		2		1					
	小計(15科目)	—	0	30	0	7	0	0	0	0	兼1
専 門 科 目 / 価 値 創 造 科 目 群 / 価 値 創 造 基 礎	計量経済学	2前		2							兼1
	応用計量経済学	2後		2		1					
	経済指標の読み方	2前		2			1				
	地域経済	2前		2		1					
	地域分析	2後		2							兼1
	金融リテラシー	2前		2			1				
	経営管理	2前		2		1					
	経営戦略	2後		2		1					
	経営組織	2後		2		1					
	観光経済学	2前		2		1					
	観光統計	2前		2		1					
	観光データ分析	2後		2		1					
	スポーツツーリズム	2後		2							兼1
	国際観光政策	2後		2							兼1
	データ分析のための物理Ⅰ	2前		2				1			
	データ分析のための物理Ⅱ	2後		2				1			
	気象学	2後		2				1			
	計量犯罪学	2前		2		1					
	空間情報システム学	2前		2		1					
	空間情報システム学実習	2後		2		1					
統計データと地図表現	2後		2				1				
スポーツデータ分析のためのプログラミング	2前		2				1				
データによる戦術・戦略Ⅰ	2前		2				1			兼4	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	データによる戦術・戦略Ⅱ	2後		2				1				兼4
	コンディショニング演習	2前		2				2				
	コーチング演習	2後		2				1				
	小計(26科目)	—	0	52	0	6	1	5	0	0		兼8
専門科目 / 価値創造科目群 / 価値創造発展	経済統計Ⅰ	3前		2			1					
	経済統計Ⅱ	3後		2			1					
	実証経済分析	3後		2		1						
	金融データ分析	3前		2			1					
	クオリティマネジメント	3前		2		1						
	イノベーションマネジメント	3前		2		1						
	計量マーケティング	3前		2		1						
	グローバルビジネス	3後		2		1						
	サービスデータサイエンス	3後		2		1						
	EBPM	3前		2		1						
	観光マーケティング	3前		2		1						
	観光リスクマネジメント	3前		2		1						
	ホスピタリティマネジメント	3後		2								兼1
	気象データ解析法	3前		2				1				
	気象データ解析実習	3後		2				1				
	リモートセンシング	3前		2		1						
	社会応用データサイエンス	3前		2								兼1
	空中写真の利用と活用	3前		2				1				
	データビジュアライゼーション	3後		2		1						
	不動産データ分析	3後		2		1						
数理モデリングとシミュレーション [社会・経済]	3前		2				1					
数理モデリングとシミュレーション [気象]	3後		2				1					

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	スポーツアナリティクスⅠ	3前		2		1		1				
	スポーツアナリティクスⅡ	3後		2		1		1				
	スポーツモニタリング	3前		2				2				
	データサイエンスによるスポーツコーチング	3後		2				2				
	小計(26科目)	—	0	52	0	8	1	5	0	0	兼2	
専門科目／演習科目群	フィールドワーク	2通		2		1		1				
	インターンシップ	2通		2				1				
	ゼミナールⅠ	3前	2			13	3	6				
	ゼミナールⅡ	3後	2			13	3	6				
	ゼミナールⅢ	4前	2			13	3	6				
	ゼミナールⅣ	4後	2			13	3	6				
	卒業研究・卒業論文	4通	4			13	3	6				
小計(7科目)	—	12	4	0	13	3	6	0	0	0		
自由科目	教育学の基礎	1前			2							兼2
	教育史	2後			2							兼1
	教職概論	1後			2							兼3
	教育行政学	2前			2							兼1
	教育法学	2後			2							兼1
	生涯学習概論Ⅰ	2前			2							兼2
	生涯学習概論Ⅱ	2後			2							兼2
	教育社会学	3後			2							兼1
	教職特講	3前			2							兼2
	教育心理学	1前			2							兼2
	学習心理学	3前			2							兼2
	青年心理学	3後			2							兼2
	特別支援教育概論	2前			2			1				
	カリキュラム論	2前			2							兼1



【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	道徳教育の理論と実践	2前			2							兼1
	教育方法論Ⅰ(総合的な学習の時間の指導法を含む)	2前			2							兼1
	特別活動論	2前			2							兼2
	教育方法論Ⅱ	2後			2			1				兼1
	生徒理解と教育相談	2前			2							兼1
	生徒・進路指導論	2前			2							兼1
	教育実習(事前指導)	3前			2			1				兼2
	教育実習Ⅰ	4通			4			1				兼2
	教育実習Ⅱ	4通			2			1				兼2
	教職実践演習[中・高]	4後			2			1				兼2
	教職演習	3後			2			1				兼2
	情報教育論Ⅰ	3前			2							兼1
	情報教育論Ⅱ	3後			2							兼1
	社会教育経営論Ⅰ	2前			2							兼1
	社会教育経営論Ⅱ	2後			2							兼1
	生涯学習支援論Ⅰ	2前			2							兼1
	生涯学習支援論Ⅱ	2後			2							兼1
	社会教育実習	2通			1							兼1
	現代社会と社会教育	2前			2							兼1
	社会教育行政論	2後			2							兼1
	社会教育活動論	2前			2							兼1
	社会教育施設論	2後			2							兼1
	社会教育演習Ⅰ	2前			2							兼1
	社会教育演習Ⅱ	2後			2							兼1
	社会教育課題研究Ⅰ	2前			2							兼1

【令和3年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	社会教育課題研究Ⅱ	2後			2							兼1
	博物館概論	1前・*			2							兼2
	博物館教育論	1後			2							兼3
	博物館資料論	2前			2							兼3
	博物館経営論	2前			2							兼2
	博物館資料保存論	3前			2							兼2
	博物館展示論	3前			2							兼3
	博物館情報・メディア論	3前			2							兼2
	館務実習	4通			1							兼2
	考古学1	2前			2							兼1
	考古学2	2後			2							兼1
	文化史1	2前			2							兼1
	文化史2	2後			2							兼1
	民俗学1	3前			2							兼1
	民俗学2	3後			2							兼1
	美術史1	3前			2							兼1
	美術史2	3後			2							兼1
	日本美術史1	3前			2							兼1
	日本美術史2	3後			2							兼1
	考古学概論	2前			2							兼1
	文化財保存論	2後			2							兼1
	文化史概論	2前			2							兼1
	生活文化史	2後			2							兼1
	民俗学概論	2前			2							兼1
	民俗調査法	2後			2							兼1

【令和3年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	美術史概論	2前			2							兼1
	現代美術論	2後			2							兼1
	自然観の変遷(未開講)	1後			2							兼1
	基礎生物学	1前			2							兼1
	生物学 I	1後			2							兼1
	基礎地学	1前			2							兼1
	地学 I	1後			2							兼1
	博物館実習[考古]	4前			1							兼2
	博物館実習[古文書]	4前			1							兼2
	博物館実習[美術]	4前			1							兼1
	博物館実習[自然]	4前			1							兼2
	施設見学実習1	3通			1							兼1
	施設見学実習2	3通			1							兼1
	施設見学実習3	3通			1							兼1
	図書館概論	1前・*			2							兼2
	図書・図書館史	2前			2							兼1
	図書館情報技術論	2前			2							兼1
	図書館サービス概論	2後			2							兼1
	情報サービス論	2前			2							兼1
	児童サービス論	2前			2							兼1
	図書館情報資源概論	1前・*			2							兼1
	情報資源組織論	2前			2							兼1
	図書館制度・経営論	3前			2							兼1
	情報サービス演習1	3前			1							兼1
	情報サービス演習2	3後			1							兼1

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	情報資源組織演習1	3前			1							兼1
	情報資源組織演習2	3前			1							兼1
	図書館基礎特論	3前			2							兼1
	図書館情報資源特論	3前			2							兼1
	学校経営と学校図書館	2前			2							兼1
	学校図書館メディアの構成	3前			2							兼1
	学習指導と学校図書館	2後			2							兼1
	読書と豊かな人間性	3前			2							兼1
	情報メディアの活用	3前			2							兼1
	小計(98科目)	—	0	0	185	0	0	1	0	0		兼51
	合計(281科目)	—	68	297	185	13	3	7	2	0		兼100
卒業要件及び履修方法												
<p>教養的科目24単位以上、専門科目80単位以上、これらの合計で124単位以上修得すること。</p> <p>教養的科目では、フレッシュヤーズ科目群の必修10単位、外国語コミュニケーション科目群の必修4単位を含むこと。</p> <p>専門科目では、専門基礎科目群から必修を含む28単位以上、データサイエンス科目群データサイエンス基礎から必修を含む14単位以上、同科目群データサイエンス発展から4単位以上、価値創造科目群価値創造基礎から6単位以上、同科目群価値創造発展から4単位以上、演習科目群から必修を含む12単位以上を修得すること。</p> <p>なお、配当年次は、履修開始学年を示す。(年間履修登録単位の上限:1年次42単位(半期CAP24単位)、2年次44単位(半期CAP26単位)、3年次44単位(半期CAP26単位)、4年次38単位(半期CAP22単位))</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和3年度】**

- ・各学部ごとの開講となったことによる適正なクラス数の配置により、「歴史学概説」の教員の配置を「准教授1・兼1」から「准教授1」に変更
- ・各学部ごとの開講となったことによる適正なクラス数の配置により、「史学方法論」の教員の配置を「准教授1・兼1」から「准教授1」に変更
- ・「心理学概説Ⅰ」の配当年次を「1前」から「1後」に変更
- ・「発達心理学入門」の配当年次を「1前」から「1後」に変更
- ・「環境社会学入門」の配当年次を「1後」から「1前」に変更
- ・「社会心理学入門」の配当年次を「1後」から「1前」に変更
- ・「近代科学の成立」の配当年次を「1前」から「1後」に変更
- ・認可時の附帯事項の対応として「基礎数学」と「基礎統計学」を教育課程外の位置付けに変更し、削除
- ・適正なクラスの配置により、「キャリア開発基礎講座Ⅰ」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更
- ・教職課程認定申請により、「教育学の基礎」を「兼3」から「兼2」に変更
- ・教職課程認定申請により、「教職概論」を「兼4」から「兼3」に変更
- ・教職課程認定申請により、「教育行政学」を「兼2」から「兼1」に変更
- ・教職課程認定申請により、「生徒理解と教育相談」を「兼2」から「兼1」に変更のうえ、配当年次を「1前」から「1前・後」に変更
- ・教職課程認定申請により、「生徒・進路指導論」を「兼2」から「兼1」に変更
- ・適正なクラス数の配置により、「博物館概論」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更
- ・適正なクラスの配置により、「自然観の変遷」を隔年開講に変更
- ・適正なクラス数の配置により、「図書館概論」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更
- ・適正なクラス数の配置により、「図書館情報資源概論」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更
- ・卒業要件及び履修方法の誤記を修正。専門基礎科目群から必修を含む「26単位以上」を「28単位以上」に変更、年間履修登録単位の上限の4年次「36単位」を「38単位」に変更
- ・授業運営上の理由により、教員等の配置を見直し、「微分積分学演習」を「兼4」から「兼5」に変更
- ・「気象と社会」、「史学方法論」について、第2期に履修者があったため「(未開講)」の表記を削除

**【令和4年度】**

- ・授業運営上の理由により、教員等の配置を見直し
  - ・「基礎英語Ⅰ」を「兼3」から「兼4」に変更
  - ・「基礎英語Ⅱ」を「兼3」から「兼4」に変更
  - ・「実践英語Ⅰ」を「兼4」から「兼3」に変更
  - ・「実践英語Ⅱ」を「兼4」から「兼3」に変更
  - ・「歴史学概説」を「准教授1・兼1」から「准教授1」に変更
  - ・「史学方法論」を「准教授1・兼1」から「准教授1」に変更
  - ・「発達心理学入門」を「講師1・兼1」から「講師1」に変更
  - ・「微分積分学演習」を「兼4」から「兼5」に変更
  - ・「線形代数学演習」を「兼3」から「兼4」に変更
  - ・「統計学実習Ⅰ」を「兼4」から「兼3」に変更
  - ・「統計学実習Ⅱ」を「兼6」から「兼5」に変更
- ・教職課程認定申請により、教員等の配置を見直し
  - ・「教育学の基礎」を「兼3」から「兼2」に変更
  - ・「教職概論」を「兼4」から「兼3」に変更
  - ・「教育行政学」を「兼2」から「兼1」に変更
  - ・「生徒理解と教育相談」を「兼2」から「兼1」に変更
  - ・「生徒・進路指導論」を「兼2」から「兼1」に変更
- ・授業運営上の理由により、配当年次を変更
  - ・「日本の生活と文化」を「1後」から「1前」に変更
  - ・「環境社会学入門」を「1後」から「1前」に変更
  - ・「教育史」を「2後」から「2前」に変更
  - ・「教育心理学」を「1前」から「1前・後」に変更
  - ・「カリキュラム論」を「2前」から「2前・後」に変更
  - ・「道德教育の理論と実践」を「2前」から「2前・後」に変更
  - ・「特別活動論」を「2前」から「2前・後」に変更
  - ・「生徒理解と教育相談」を「1後」から「1前」に変更
  - ・「生徒・進路指導論」を「2前」から「2前・後」に変更
- ・適正なクラス数の配置により、配当年次を変更
  - ・「キャリア開発基礎講座Ⅰ」を「1前」から「1前・後」に変更
  - ・「博物館概論」を「1前」から「1前・後」に変更
  - ・「博物館資料論」を「2前」から「2前・後」に変更
  - ・「博物館経営論」を「2前」から「2前・後」に変更
  - ・「図書館概論」を「1前」から「1前・後」に変更
  - ・「図書・図書館史」を「2前」から「2前・後」に変更
  - ・「図書館情報技術論」を「2前」から「2前・後」に変更
  - ・「情報サービス論」を「2前」から「2前・後」に変更
  - ・「児童サービス論」を「2前」から「2前・後」に変更
  - ・「図書館情報資源概論」を「1前」から「1前・後」に変更
  - ・「情報資源組織論」を「2前」から「2前・後」に変更

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
33 科目	152 科目	98 科目	283 科目	33 科目 [ 0 ]	150 科目 [ Δ2 ]	98 科目 [ 0 ]	281 科目 [ Δ2 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	日本の自然と風土	2	1前	一般	選択	隔年開講による本年度休講の為
2	近代科学の成立	2	1前	一般	選択	隔年開講による本年度休講の為
3	生物多様性と社会	2	1後	一般	選択	隔年開講による本年度休講の為
4	民俗学概論	2	2前	-	選択	隔年開講による本年度休講の為
5	民俗調査法	2	2後	-	選択	隔年開講による本年度休講の為

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	基礎数学	2	1前	一般	選択	認可時の附帯事項の対応として正課外に位置付け
2	基礎統計学	2	1前	一般	選択	認可時の附帯事項の対応として正課外に位置付け

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については、隔年開講のため、次年度開講する予定である。廃止科目については、認可時の附帯事項の対応としてカリキュラムから削除し、正課外の位置付けとして補習授業を実施し学生個人の能力に応じた教育体制を整える。未開講科目と廃止科目について、学生には入学後に配付している「学生要覧」及びガイダンスで周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{7}{283} = \boxed{2.47}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。



3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 登記に伴う再計算 (3)			
	校舎敷地	184,692.46 <del>180,154.39</del> m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>2</sup>	184,692.46 <del>180,154.39</del> m <sup>2</sup>				
	運動場用地	118,887.00 <del>123,461.00</del> m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>2</sup>	118,887.00 <del>123,461.00</del> m <sup>2</sup>				
	小 計	303,579.46 <del>303,615.39</del> m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>2</sup>	303,579.46 <del>303,615.39</del> m <sup>2</sup>				
	そ の 他	72,396.84 <del>72,361.94</del> m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>2</sup>	72,396.84 <del>72,361.94</del> m <sup>2</sup>				
	合 計	375,976.30 <del>375,977.33</del> m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>2</sup>	375,976.30 <del>375,977.33</del> m <sup>2</sup>				
(2) 校舎	専 用	100,411.85 <del>100,417.58</del> m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>2</sup>	100,411.85 <del>100,417.58</del> m <sup>2</sup>	大学全体 登記に伴う再計算 (4) 登記に伴う再計算 (3)			
		100,411.85 <del>100,417.58</del> m <sup>2</sup>			( 0.00 m <sup>2</sup> )		( 0.00 m <sup>2</sup> )	( 100,411.85 <del>100,417.58</del> m <sup>2</sup> )	
		( 104,081.74 )					( 104,081.74 )		
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 改修工事により用途変更 (3)			
	158 室	51 <del>57</del> 室	70 室	18 <del>16</del> 室 (補助職員 0人)	1 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		用途変更のため (4)			
	データサイエンス学部 データサイエンス学科			26 <del>25</del> 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書、学術雑誌、視聴覚資料は学部単位での特定不能なため、大学全体の数 機械・器具、標本は熊谷キャンパス全体の数 取得、処分に伴う増減 (4)	
	データサイエンス学部	1,050,444 [197,863] <del>(1,012,582 [192,649])</del> <del>(1,005,634 [191,863])</del> <del>(1,011,972 [193,332])</del>	10,529 [1,494] <del>( 10,263 [1,501] )</del> <del>(10,236 [1,051])</del> <del>(10,287 [1,490])</del>	8,249 [7,810] <del>(9,456 [9,395])</del> <del>(9,581 [9,520])</del> <del>(8,249 [7,810])</del>	13,560 <del>12,798</del> <del>(12,744)</del> <del>12,225</del>	14,880 <del>14,802</del> <del>(14,802)</del> <del>15,900</del>	( 11 )		11
	計	1,050,444 [197,863] <del>(1,012,582 [192,649])</del> <del>(1,005,634 [191,863])</del> <del>(1,011,972 [193,332])</del>	10,529 [1,494] <del>( 10,263 [1,501] )</del> <del>(10,236 [1,051])</del> <del>(10,287 [1,490])</del>	8,249 [7,810] <del>(9,456 [9,395])</del> <del>(9,581 [9,520])</del> <del>(8,249 [7,810])</del>	13,560 <del>12,798</del> <del>(12,744)</del> <del>12,225</del>	14,880 <del>14,802</del> <del>(14,802)</del> <del>15,900</del>	( 11 )		11
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 品川図書館閲覧席増設 (4) レイアウト変更及びラーニング commons の整備 (3)		
	13,511.11m <sup>2</sup> <del>13,395.11m<sup>2</sup></del>		1,230 <del>1,227</del> <del>1,513</del>		1,433,889				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体 老朽化により不使用のため (4)		
	8,311.65 m <sup>2</sup>		品川：プール、武道場、弓道場、ゴルフ練習場 熊谷：弓道場、 <del>ゴルフ練習場</del> 、テニスコート6面、陸上競技場、野球場、サッカー場、ラグビー場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む 共同研究費等では当初予定していた紀要発行が紙媒体から電子媒体に変更され、費用が削減された (4)
		教員 1 人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	6,957千円 <del>5,520千円</del>	8,520千円	8,520千円	
	共同研究費等	1,279千円 <del>2,500千円</del>	2,500千円	設備購入費	143,190千円 <del>42,857千円</del>	32,667千円 <del>12,857千円</del>	35,162千円		
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	千円	千円
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、寄付金、雑収入等						購入図書追加 (3) 附帯事項に対応する環境整備のため設備購入費増 (3)	

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和 4 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	立正大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
仏教学部	4	105	—	420	—	0.91	0.79			—	
宗学科	4	50	—	200	学士(仏教学)	0.90	0.80	—	昭和24	東京都品川区大崎4-2-16	
仏教学科	4	55	—	220	学士(仏教学)	0.93	0.78	—	昭和24	同上	
文学部	4	560	—	2,240	—	0.86	0.89			—	
哲学科	4	95	—	380	学士(哲学)	0.94	1.02	平成30	昭和24	東京都品川区大崎4-2-16	
史学科	4	155	—	620	学士(史学)	0.83	0.87	平成30	昭和24	同上	
社会学科	4	155	—	620	学士(社会学)	0.83	0.84	平成30	昭和24	同上	
文学科	4	155	—	620	学士(文学)	0.86	0.89	平成30	平成14	同上	
経済学部	4	400	—	1,600	—	0.98	1.02			—	
経済学科	4	400	—	1,600	学士(経済学)	0.98	1.02	平成30	昭和25	東京都品川区大崎4-2-16	
経営学部	4	330	—	1,320	—	0.98	0.98			—	
経営学科	4	330	—	1,320	学士(経営学)	0.98	0.98	平成30	昭和42	東京都品川区大崎4-2-16	
法学部	4	340	—	1,360	—	0.96	1.00			—	
法学科	4	340	—	1,360	学士(法学)	0.96	1.00	平成30	昭和56	東京都品川区大崎4-2-16	
社会福祉学部	4	275	—	1,150	—	0.92	0.82			—	
社会福祉学科	4	175	—	750	学士(社会福祉学)	0.94	0.88	令和3	平成8	埼玉県熊谷市万吉1700	定員変更(△25)
子ども教育福祉学科	4	100	—	400	学士(人間福祉学)	0.90	0.73	—	平成8	同上	
地球環境科学部	4	230	—	950	—	0.78	0.68			—	
環境システム学科	4	115	—	460	学士(理学)	0.76	0.68	平成30	平成10	埼玉県熊谷市万吉1700	
地理学科	4	115	—	490	学士(地理学)	0.80	0.68	令和3	平成10	同上	定員変更(△15)
心理学部	4	285	—	1,140	—	0.98	1.03			—	
臨床心理学科	4	170	—	680	学士(心理学)	0.99	1.05	平成30	平成14	東京都品川区大崎4-2-16	
対人・社会心理学科	4	115	—	460	学士(心理学)	0.96	1.00	平成30	平成23	同上	
データサイエンス学部	4	240	—	960	—	0.91	0.93			—	
データサイエンス学科	4	240	—	960	学士(データサイエンス学)	0.91	0.93	—	令和3	埼玉県熊谷市万吉1700	令和3年度開設
大学全体	4	2,765	—	11,140	—	0.92	0.92	—	—	—	

大学の名称	立正大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科簿数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
文学研究科										—	
修士課程	2	56	—	112	—	0.39	0.37			—	
仏教学専攻	2	10	—	20	修士(文学)	0.45	0.50	—	昭和26	東京都品川区大崎4-2-16	
英米文学専攻	2	10	—	20	修士(文学)	0.30	0.40	—	昭和40	同上	
社会学専攻	2	10	—	20	修士(社会学)	0.25	0.20	—	昭和26	同上	
史学専攻	2	10	—	20	修士(文学)	0.85	0.90	—	昭和44	同上	
国文学専攻	2	10	—	20	修士(文学)	0.00	0.00	—	昭和26	同上	
哲学専攻	2	6	—	12	修士(文学)	0.58	0.16	—	昭和42	同上	
博士後期課程	3	17	—	51	—	0.19	0.11			—	
仏教学専攻	3	3	—	9	博士(文学)	0.33	0.00	—	昭和31	東京都品川区大崎4-2-16	
英米文学専攻	3	2	—	6	博士(文学)	0.00	0.00	—	昭和40	同上	
社会学専攻	3	2	—	6	博士(社会学)	0.00	0.00	—	昭和43	同上	
史学専攻	3	4	—	12	博士(文学)	0.41	0.50	—	昭和52	同上	
国文学専攻	3	3	—	9	博士(文学)	0.00	0.00	—	平成4	同上	
哲学専攻	3	3	—	9	博士(文学)	0.22	0.00	—	平成7	同上	
経済学研究科										—	
修士課程	2	10	—	20	—	1.15	1.00			—	
経済学専攻	2	10	—	20	修士(経済学)	1.15	1.00	—	昭和63	東京都品川区大崎4-2-16	
博士後期課程	3	6	—	18	—	0.33	0.33			—	
経済学専攻	3	6	—	18	博士(経済学)	0.33	0.33	—	平成6	東京都品川区大崎4-2-16	
法学研究科										—	
修士課程	2	10	—	20	—	0.25	0.30			—	
法学専攻	2	10	—	20	修士(法学)	0.25	0.30	—	平成6	東京都品川区大崎4-2-16	
経営学研究科										—	
修士課程	2	10	—	20	—	0.50	0.40			—	
経営学専攻	2	10	—	20	修士(経営学)	0.50	0.40	—	平成10	東京都品川区大崎4-2-16	
社会福祉学研究科										—	
修士課程	2	10	—	20	—	0.20	0.20			—	
社会福祉学専攻	2	6	—	12	修士(社会福祉学)	0.08	0.16	—	平成12	埼玉県熊谷市万吉1700	
教育福祉学専攻	2	4	—	8	修士(教育福祉学)	0.37	0.25	—	平成28	同上	
博士後期課程	3	3	—	9	—	0.22	0.33			—	
社会福祉学専攻	3	3	—	9	博士(社会福祉学)	0.22	0.33	—	平成20	埼玉県熊谷市万吉1700	
地球環境科学研究科										—	
修士課程	2	18	—	36	—	0.13	0.11			—	
環境システム学専攻	2	10	—	20	修士(理学)	0.20	0.20	—	平成12	埼玉県熊谷市万吉1700	
地理空間システム学専攻	2	8	—	16	修士(地理学)	0.06	0.00	—	平成12	同上	
博士後期課程	3	7	—	21	—	0.23	0.28			—	
環境システム学専攻	3	4	—	12	博士(理学)	0.33	0.50	—	平成12	埼玉県熊谷市万吉1700	
地理空間システム学専攻	3	3	—	9	博士(地理学)	0.11	0.00	—	平成12	同上	

心理学研究科										—
修士課程	2	20	—	40	—	0.67	0.70			—
臨床心理学専攻	2	10	—	20	修士 (心理学)	0.90	0.90	—	平成16	東京都品川区大崎4-2-16
応用心理学専攻	2	5	—	10	修士 (心理学)	0.30	0.40	—	平成16	同上
対人・社会心理学専攻	2	5	—	10	修士 (心理学)	0.60	0.60	—	平成24	同上
博士後期課程	3	4	—	12	—	0.16	0.00			—
心理学専攻	3	4	—	12	博士 (心理学)	0.16	0.00	—	平成16	東京都品川区大崎4-2-16
大学院全体	—	171	—	379	—	—	—	—	—	—

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<データサイエンス学部 データサイエンス学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	北村 行伸 <令和3年4月> D.Phil in Economics (英国)
		学修の基礎Ⅰ 学修の基礎Ⅱ データサイエンス入門 ※ データサイエンスと価値創造 応用軽量経済学 EBPM ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	原田 豊 <令和3年4月> Ph.D. in Criminology (米国)
		社会学概説 計量犯罪学 空間情報システム学 フィールドワーク ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	山下 倫範 <令和3年4月> 理学修士※
		データサイエンティストの世界 微分積分学 微分積分学演習 線形代数学 線形代数学演習 応用数学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	北村 行伸 <令和3年4月> D.Phil in Economics (英国)
		学修の基礎Ⅰ 学修の基礎Ⅱ データサイエンス入門 ※ データサイエンスと価値創造 応用計量経済学 EBPM ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	原田 豊 <令和3年4月> Ph.D. in Criminology (米国)
		社会学概説 計量犯罪学 空間情報システム学 フィールドワーク ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	山下 倫範 <令和3年4月> 理学修士※
		データサイエンティストの世界 微分積分学 微分積分学演習 線形代数学 線形代数学演習 応用数学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	北村 行伸 <令和3年4月> D.Phil in Economics (英国)
		学修の基礎Ⅰ 学修の基礎Ⅱ データサイエンス入門 ※ データサイエンスと価値創造 応用計量経済学 EBPM ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	原田 豊 <令和3年4月> Ph.D. in Criminology (米国)
		社会学概説 計量犯罪学 空間情報システム学 フィールドワーク ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	山下 倫範 <令和3年4月> 理学修士※
		データサイエンティストの世界 微分積分学 微分積分学演習 線形代数学 線形代数学演習 応用数学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西崎 文平 <令和3年4月> Master of Science in Economics (米国) ※
		ミクロ経済学 マクロ経済学 地域経済 実証経済分析 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	上原 宏 <令和3年4月> 博士(経営学)
		データサイエンス入門 ※ インターネットデータ収集技術 テキストマイニングⅠ テキストマイニングⅡ 特微量エンジニアリング データビジュアライゼーション ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	家富 洋 <令和3年4月> 理学博士
		物理学の世界 自然科学 ※ ネットワーク理論 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 統計学Ⅲ スポーツアナリティクスⅠ スポーツアナリティクスⅡ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西崎 文平 <令和3年4月> Master of Science in Economics (米国) ※
		ミクロ経済学 マクロ経済学 地域経済 実証経済分析 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	上原 宏 <令和3年4月> 博士(経営学)
		データサイエンス入門 ※ インターネットデータ収集技術 テキストマイニングⅠ テキストマイニングⅡ 特微量エンジニアリング データビジュアライゼーション ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	家富 洋 <令和3年4月> 理学博士
		物理学の世界 自然科学 ※ ネットワーク理論 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 統計学Ⅲ スポーツアナリティクスⅠ スポーツアナリティクスⅡ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西崎 文平 <令和3年4月> Master of Science in Economics (米国) ※
		ミクロ経済学 マクロ経済学 地域経済 実証経済分析 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	上原 宏 <令和3年4月> 博士(経営学)
		データサイエンス入門 ※ インターネットデータ収集技術 テキストマイニングⅠ テキストマイニングⅡ 特微量エンジニアリング データビジュアライゼーション ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	家富 洋 <令和3年4月> 理学博士
		物理学の世界 自然科学 ※ ネットワーク理論 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 統計学Ⅲ スポーツアナリティクスⅠ スポーツアナリティクスⅡ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大井 達雄 <令和3年4月> 博士(経営学)
		データサイエンス入門 ※ 観光学 観光経済学 観光統計 観光データ分析 観光マーケティング 観光リスクマネジメント 不動産データ分析 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	高部 勲 <令和3年4月> 博士(統計科学)
		AI入門Ⅰ AI入門Ⅱ 統計調査法 社会調査の設計と実査 社会調査実習Ⅰ 社会調査実習Ⅱ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	伊藤 善夫 <令和3年4月> 工学修士※
		経営学 経営管理 経営戦略 経営組織 クオリティマネジメント イノベーションマネジメント グローバルビジネス ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大井 達雄 <令和3年4月> 博士(経営学)
		データサイエンス入門 ※ 観光学 観光経済学 観光統計 観光データ分析 観光マーケティング 観光リスクマネジメント 不動産データ分析 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	高部 勲 <令和3年4月> 博士(統計科学)
		AI入門Ⅰ AI入門Ⅱ 統計調査法 社会調査の設計と実査 社会調査実習Ⅰ 社会調査実習Ⅱ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	伊藤 善夫 <令和3年4月> 工学修士※
		経営学 経営管理 経営戦略 経営組織 クオリティマネジメント イノベーションマネジメント グローバルビジネス ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大井 達雄 <令和3年4月> 博士(経営学)
		データサイエンス入門 ※ 観光学 観光経済学 観光統計 観光データ分析 観光マーケティング 観光リスクマネジメント 不動産データ分析 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	高部 勲 <令和3年4月> 博士(統計科学)
		AI入門Ⅰ AI入門Ⅱ 統計調査法 社会調査の設計と実査 社会調査実習Ⅰ 社会調査実習Ⅱ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	伊藤 善夫 <令和3年4月> 工学修士※
		経営学 経営管理 経営戦略 経営組織 クオリティマネジメント イノベーションマネジメント グローバルビジネス ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	相馬 亘 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		プログラミング基礎 プログラミング基礎実習 自然科学 ※ 情報科学Ⅱ 機械学習Ⅰ データサイエンス特論 機械学習Ⅱ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	渡辺(山口)美智子 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		情報処理の応用 アスリートのためのデータサイエンス デジタル社会のデータリテラシー 統計学実習Ⅲ 計量マーケティング サービスデータサイエンス ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	白木 洋平 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		情報処理の基礎 情報倫理 情報科学Ⅰ 自然科学 ※ 情報セキュリティ 空間情報システム学実習 リモートセンシング ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	相馬 亘 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		プログラミング基礎 プログラミング基礎実習 自然科学 ※ 情報科学Ⅱ 機械学習Ⅰ データサイエンス特論 機械学習Ⅱ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	渡辺(山口)美智子 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		情報処理の応用 アスリートのためのデータサイエンス デジタル社会のデータリテラシー 統計学実習Ⅲ 計量マーケティング サービスデータサイエンス ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	白木 洋平 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		情報処理の基礎 情報倫理 情報科学Ⅰ 自然科学 ※ 情報セキュリティ 空間情報システム学実習 リモートセンシング ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	相馬 亘 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		プログラミング基礎 プログラミング基礎実習 自然科学 ※ 情報科学Ⅱ 機械学習Ⅰ データサイエンス特論 機械学習Ⅱ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	渡辺(山口)美智子 ＜令和3年4月＞ 理学博士
		情報処理の応用 アスリートのためのデータサイエンス デジタル社会のデータリテラシー 統計学実習Ⅲ 計量マーケティング サービスデータサイエンス ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	教授	白木 洋平 ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		情報処理の基礎 情報倫理 情報科学Ⅰ 自然科学 ※ 情報セキュリティ 空間情報システム学実習 リモートセンシング ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文



【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	白川 清美 <令和3年4月> 博士(工学)
		データサイエンス入門 ※ データベース基礎 データベース演習 統計学Ⅳ 統計学実習Ⅳ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	准教授	南部 あゆみ <令和3年4月> 博士(学術)
		民法入門 不法行為法入門 契約法入門 インターネットと法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	准教授	亀井ダイチ(亀井) 利永子(利恵子) <令和3年4月> Ph. D. inHistory (米国)
		基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 実践英語Ⅰ 実践英語Ⅱ 歴史学概説 史学方法論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	准教授	辻村 雅子 <令和3年4月> 博士(経済学)
		社会と統計 経済指標の読み方 金融リテラシー 経済統計Ⅰ 経済統計Ⅱ 金融データ分析 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	白川 清美 <令和3年4月> 博士(工学)
		データサイエンス入門 ※ データベース基礎 データベース演習 統計学Ⅳ 統計学実習Ⅳ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	准教授	南部 あゆみ <令和3年4月> 博士(学術)
		民法入門 不法行為法入門 契約法入門 インターネットと法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	准教授	亀井ダイチ(亀井) 利永子(利恵子) <令和3年4月> Ph. D. inHistory (米国)
		基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 実践英語Ⅰ 実践英語Ⅱ 歴史学概説 史学方法論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	准教授	辻村 雅子 <令和3年4月> 博士(経済学)
		社会と統計 経済指標の読み方 金融リテラシー 経済統計Ⅰ 経済統計Ⅱ 金融データ分析 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	白川 清美 <令和3年4月> 博士(工学)
		データサイエンス入門 ※ データベース基礎 データベース演習 統計学Ⅳ 統計学実習Ⅳ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	准教授	南部 あゆみ <令和3年4月> 博士(学術)
		民法入門 不法行為法入門 契約法入門 インターネットと法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	准教授	亀井ダイチ(亀井) 利永子(利恵子) <令和3年4月> Ph. D. inHistory (米国)
		基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 実践英語Ⅰ 実践英語Ⅱ 歴史学概説 史学方法論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	准教授	辻村 雅子 <令和3年4月> 博士(経済学)
		社会と統計 経済指標の読み方 金融リテラシー 経済統計Ⅰ 経済統計Ⅱ 金融データ分析 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	宮崎 善幸 <令和3年4月> 修士(武道・スポーツ)
		トレーニング科学 データによる戦術・戦略Ⅰ データによる戦術・戦略Ⅱ コンディショニング演習 コーチング演習 スポーツモニタリング データサイエンスによるスポーツ コーチング ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	講師	平田 英隆 <令和3年4月> 博士(理学)
		環境科学 気象と社会 自然科学 ※ 気象学 気象データ解析法 気象データ解析実習 数理モデリングとシミュレーション [気象] ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	講師	松尾 忠直 <令和3年4月> 博士(地理学)
		社会調査の基礎 統計データと地図表現 空中写真の利用と活用 フィールドワーク ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	宮崎 善幸 <令和3年4月> 修士(武道・スポーツ)
		トレーニング科学 データによる戦術・戦略Ⅰ データによる戦術・戦略Ⅱ コンディショニング演習 コーチング演習 スポーツモニタリング データサイエンスによるスポーツ コーチング ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	講師	平田 英隆 <令和3年4月> 博士(理学)
		環境科学 気象と社会 自然科学 ※ 気象学 気象データ解析法 気象データ解析実習 数理モデリングとシミュレーション [気象] ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	講師	松尾 忠直 <令和3年4月> 博士(地理学)
		社会調査の基礎 統計データと地図表現 空中写真の利用と活用 フィールドワーク ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	宮崎 善幸 <令和3年4月> 修士(武道・スポーツ)
		トレーニング科学 データによる戦術・戦略Ⅰ データによる戦術・戦略Ⅱ コンディショニング演習 コーチング演習 スポーツモニタリング データサイエンスによるスポーツ コーチング ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	講師	平田 英隆 <令和3年4月> 博士(理学)
		環境科学 気象と社会 自然科学 ※ 気象学 気象データ解析法 気象データ解析実習 数理モデリングとシミュレーション [気象] ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	講師	松尾 忠直 <令和3年4月> 博士(地理学)
		社会調査の基礎 統計データと地図表現 空中写真の利用と活用 フィールドワーク ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	石川(柳田) 茜恵 <令和3年4月> 博士(心理学)
		心理学概説Ⅰ 心理学概説Ⅱ 発達心理学入門 臨床心理学入門 生涯発達心理学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	講師	永田 聡典 <令和3年4月> 修士(スポーツ科学) ※
		スポーツと科学 健康スポーツ実習1 健康スポーツ実習2 健康スポーツ野外実習 データサイエンス入門 ※ トレーニング科学 コンディショニング演習 スポーツモニタリング データサイエンスによるスポーツ コーチング インターンシップ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	講師	成塚 拓真 <令和3年4月> 博士(理学)
		情報処理の応用 自然科学 ※ データ分析のための物理Ⅰ データ分析のための物理Ⅱ スポーツデータ分析のためのプ ログラミング 数理モデリングとシミュレ ーション[社会・経済] スポーツアナリティクスⅠ スポーツアナリティクスⅡ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文

【令和3年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	石川(柳田) 茜恵 <令和3年4月> 博士(心理学)
		心理学概説Ⅰ 心理学概説Ⅱ 発達心理学入門 臨床心理学入門 生涯発達心理学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	講師	永田 聡典 <令和3年4月> 修士(スポーツ科学) ※
		スポーツと科学 健康スポーツ実習1 健康スポーツ実習2 健康スポーツ野外実習 データサイエンス入門 ※ トレーニング科学 コンディショニング演習 スポーツモニタリング データサイエンスによるスポ ーツコーチング インターンシップ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	講師	成塚 拓真 <令和3年4月> 博士(理学)
		情報処理の応用 自然科学 ※ データ分析のための物理Ⅰ データ分析のための物理Ⅱ スポーツデータ分析のためのプ ログラミング 数理モデリングとシミュレ ーション[社会・経済] スポーツアナリティクスⅠ スポーツアナリティクスⅡ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文

【令和4年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	石川(柳田) 茜恵 <令和3年4月> 博士(心理学)
		心理学概説Ⅰ 心理学概説Ⅱ 発達心理学入門 臨床心理学入門 生涯発達心理学 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	講師	永田 聡典 <令和3年4月> 修士(スポーツ科学) ※
		スポーツと科学 健康スポーツ実習1 健康スポーツ実習2 健康スポーツ野外実習 データサイエンス入門 ※ トレーニング科学 コンディショニング演習 スポーツモニタリング データサイエンスによるスポ ーツコーチング インターンシップ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文
専	講師	成塚 拓真 <令和3年4月> 博士(理学)
		情報処理の応用 自然科学 ※ データ分析のための物理Ⅰ データ分析のための物理Ⅱ スポーツデータ分析のためのプ ログラミング 数理モデリングとシミュレ ーション[社会・経済] スポーツアナリティクスⅠ スポーツアナリティクスⅡ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業研究・卒業論文

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	村上 美奈子 <令和3年4月> 修士(教育学)※
		特別支援教育概論 教育方法論Ⅱ 教育実習(事前指導) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習[中・高] 教職演習
専	助教	三島 啓雄 <令和3年4月> 修士(農学)
		情報処理の基礎 プログラミング基礎実習 プログラミング応用実習 統計学実習Ⅰ
専	助教	木川 明彦 <令和3年4月> 博士(事業構想学)
		情報処理の基礎 プログラミング基礎実習 プログラミング応用実習 統計学実習Ⅰ
兼担	兼担	櫻井 一宏 <令和4年4月> 博士(学術)
		地域分析
兼担	兼担	デンドウ ゲーリー <令和3年4月> Master of Science, TESOL(米国)
		特別語学演習Ⅰ 特別語学演習Ⅱ 特別語学演習Ⅲ 特別語学演習Ⅳ 総合語学演習Ⅰ 総合語学演習Ⅱ 総合語学演習Ⅲ 総合語学演習Ⅳ

【令和3年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	村上 美奈子 <令和3年4月> 修士(教育学)※
		特別支援教育概論 教育方法論Ⅱ 教育実習(事前指導) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習[中・高] 教職演習
専	助教	三島 啓雄 <令和3年4月> 修士(農学)
		情報処理の基礎 プログラミング基礎実習 プログラミング応用実習 統計学実習Ⅰ
専	助教	木川 明彦 <令和3年4月> 博士(事業構想学)
		情報処理の基礎 プログラミング基礎実習 プログラミング応用実習 統計学実習Ⅰ
兼担	准教授	櫻井 一宏 <令和4年4月> 博士(学術)
		地域分析
兼担	教授	デンドウ ゲーリー <令和3年4月> Master of Science, TESOL(米国)
		特別語学演習Ⅰ 特別語学演習Ⅱ 特別語学演習Ⅲ 特別語学演習Ⅳ 総合語学演習Ⅰ 総合語学演習Ⅱ 総合語学演習Ⅲ 総合語学演習Ⅳ

【令和4年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	村上 美奈子 <令和3年4月> 修士(教育学)※
		特別支援教育概論 教育方法論Ⅱ 教育実習(事前指導) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習[中・高] 教職演習
専	助教	三島 啓雄 <令和3年4月> 修士(農学)
		情報処理の基礎 プログラミング基礎実習 プログラミング応用実習 統計学実習Ⅰ
専	助教	木川 明彦 <令和3年4月> 博士(事業構想学)
		情報処理の基礎 プログラミング基礎実習 プログラミング応用実習 統計学実習Ⅰ
兼担	准教授	櫻井 一宏 <令和4年4月> 博士(学術)
		地域分析
兼担	教授	デンドウ ゲーリー <令和3年4月> Master of Science, TESOL(米国)
		特別語学演習Ⅰ 特別語学演習Ⅱ 特別語学演習Ⅲ 特別語学演習Ⅳ 総合語学演習Ⅰ 総合語学演習Ⅱ 総合語学演習Ⅲ 総合語学演習Ⅳ

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	兼任	大島 英樹 <令和4年4月> 修士(教育学)※
		生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ 教育実習(事前指導) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習[中・高] 教職演習 社会教育実習 社会教育演習Ⅰ 社会教育演習Ⅱ
兼任	兼任	岡田 愛 <令和3年4月> 修士(教育学)※
		教職概論 教育行政学 教育法学
兼任	兼任	鹿嶋(佐藤) 真弓 <令和3年4月> 博士(カウンセリング科学)
		学習心理学 青年心理学 生徒理解と教育相談 生徒・進路指導論
兼任	兼任	大平 滋 <令和3年4月> 教育学修士※
		教育学の基礎 教職概論

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大島 英樹 <令和4年4月> 修士(教育学)※
		生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ 教育実習(事前指導) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習[中・高] 教職演習 社会教育実習 社会教育演習Ⅰ 社会教育演習Ⅱ
兼任	准教授	岡田 愛 <令和3年4月> 修士(教育学)※
		教職概論 教育行政学 教育法学
兼任	教授	鹿嶋(佐藤) 真弓 <令和3年4月> 博士(カウンセリング科学)
		学習心理学 青年心理学 生徒理解と教育相談 生徒・進路指導論
兼任	教授	大平 滋 <令和3年4月> 教育学修士※
		教育学の基礎 教職概論

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大島 英樹 <令和4年4月> 修士(教育学)※
		生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ 教育実習(事前指導) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習[中・高] 教職演習 社会教育実習 社会教育演習Ⅰ 社会教育演習Ⅱ
兼任	准教授	岡田 愛 <令和3年4月> 修士(教育学)※
		教職概論 教育行政学 教育法学
兼任	教授	鹿嶋(佐藤) 真弓 <令和3年4月> 博士(カウンセリング科学)
		学習心理学 青年心理学 生徒理解と教育相談
兼任	教授	大平 滋 <令和3年4月> 教育学修士※
		教育学の基礎 教職概論

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	兼任	中島 和郎 <令和5年4月> Master of Arts in Teaching English as a Foreign Language (英国)
		教職特講
兼任	兼任	鈴木パーカー 明日香 <令和3年4月> Ph.D in Earth and Atmospheric Sciences (米国)
		近代科学の成立【隔年】
兼任	兼任	米林 仲 <令和3年4月> 理学博士
		生物学の世界【隔年】
兼任	兼任	所澤 潤 <令和3年4月> 教育学修士※
		教職概論 教育方法論Ⅰ(総合的な学習の時 間の指導法を含む) 教育方法論Ⅱ

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中島 和郎 <令和5年4月> Master of Arts in Teaching English as a Foreign Language (英国)
		教職特講
兼任	講師	鈴木パーカー 明日香 <令和3年4月> Ph.D in Earth and Atmospheric Sciences (米国)
		近代科学の成立【隔年】
兼任	教授	米林 仲 <令和4年4月> 理学博士
		生物学の世界【隔年】
兼任	教授	所澤 潤 <令和3年4月> 教育学修士※
		教職概論 教育方法論Ⅰ(総合的な学習の時 間の指導法を含む) 教育方法論Ⅱ

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	中島 和郎 <令和5年4月> Master of Arts in Teaching English as a Foreign Language (英国)
		教職特講
兼任	教授	米林 仲 <令和4年4月> 理学博士
		生物学の世界【隔年】
兼任	教授	所澤 潤 <令和3年4月> 教育学修士※
		教職概論 教育方法論Ⅱ 教育史

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	兼任	位田 央 <令和3年4月> 修士(法学)※
		法学入門〔日本国憲法を含む〕 法律学概説
兼任	兼任	清水 海隆 <令和4年4月> 文学修士※
		仏教の思想と歴史 現代社会と仏教
兼任	兼任	山口 広文 <令和3年4月> 国際学修士
		図書館概論 情報サービス論 図書館制度・経営論 図書館情報資源特論
兼任	兼任	岩崎 望 <令和3年4月> 農学博士
		基礎生物学
兼任	兼任	須田 知樹 <令和3年4月> 博士(農学)
		生物学 I

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	位田 央 <令和3年4月> 修士(法学)※
		法学入門〔日本国憲法を含む〕 法律学概説
兼任	教授	清水 海隆 <令和3年4月> 文学修士※
		仏教の思想と歴史 現代社会と仏教
兼任	教授	山口 広文 <令和3年4月> 国際学修士
		図書館概論 情報サービス論 図書館制度・経営論 図書館情報資源特論
兼任	教授	岩崎 望 <令和3年4月> 農学博士
		基礎生物学
兼任	教授	須田 知樹 <令和3年4月> 博士(農学)
		生物学 I

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	清水 海隆 <令和3年4月> 文学修士※
		仏教の思想と歴史 現代社会と仏教
兼任	教授	山口 広文 <令和3年4月> 国際学修士
		図書館概論 情報サービス論 図書館制度・経営論 図書館情報資源特論
兼任	教授	岩崎 望 <令和3年4月> 農学博士
		基礎生物学
兼任	教授	須田 知樹 <令和3年4月> 博士(農学)
		生物学 I

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	兼任	河野 忠 <令和3年4月> 博士(地理学)
		基礎地学
兼任	兼任	阿由葉 司 <令和3年4月> 文学士
		博物館概論 博物館経営論 博物館資料保存論 博物館展示論 博物館情報・メディア論 館務実習 文化史概論【隔年】 生活文化史【隔年】 民俗学概論【隔年】 民俗調査法【隔年】 博物館実習【古文書】 施設見学実習3
兼任	兼任	友永 昌治 <令和3年4月> 理学修士
		微分積分学演習 線形代数学演習 統計学実習Ⅰ 統計学実習Ⅱ
兼任	兼任	平井 壽子 <令和3年4月> 理学博士
		地学Ⅰ

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	河野 忠 <令和3年4月> 博士(地理学)
		基礎地学
兼任	教授	阿由葉 司 <令和3年4月> 文学士
		博物館概論 博物館経営論 博物館資料保存論 博物館展示論 博物館情報・メディア論 館務実習 文化史概論【隔年】 生活文化史【隔年】 民俗学概論【隔年】 民俗調査法【隔年】 博物館実習【古文書】 施設見学実習3
兼任	教授	友永 昌治 <令和3年4月> 理学修士
		微分積分学演習 線形代数学演習 統計学実習Ⅰ 統計学実習Ⅱ

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	河野 忠 <令和3年4月> 博士(地理学)
		基礎地学
兼任	教授	阿由葉 司 <令和3年4月> 文学士
		博物館概論 博物館経営論 博物館資料保存論 博物館展示論 博物館情報・メディア論 館務実習 文化史概論【隔年】  博物館実習【古文書】 施設見学実習3
兼任	教授	友永 昌治 <令和3年4月> 理学修士
		微分積分学演習 線形代数学演習 統計学実習Ⅰ



【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	兼任	高橋 洋行 <令和3年4月> 修士(教育学)※
		教育学の基礎 教育史 カリキュラム論 教育実習(事前指導) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習[中・高] 教職演習
兼任	兼任	紺野 英二 <令和3年4月> 修士(文学)
		博物館概論 博物館資料論 博物館展示論 館務実習 考古学1 考古学2 博物館実習[考古] 施設見学実習1
兼任	兼任	青木 和昭 <令和3年4月> 博士(情報科学)
		微分積分学演習 線形代数学演習 統計学実習Ⅰ 統計学実習Ⅱ

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	高橋 洋行 <令和3年4月> 修士(教育学)※
		教育学の基礎 教育史 カリキュラム論 教育実習(事前指導) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習[中・高] 教職演習
兼任	講師	紺野 英二 <令和3年4月> 修士(文学)
		博物館概論 博物館資料論 博物館展示論 館務実習 考古学1 考古学2 博物館実習[考古] 施設見学実習1
兼任	准教授	下岡 順直 <令和3年4月> 博士(文学)
		地学Ⅰ
兼任	講師	青木 和昭 <令和3年4月> 博士(情報科学)
		微分積分学演習 線形代数学演習 統計学実習Ⅰ 統計学実習Ⅱ

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	高橋 洋行 <令和3年4月> 修士(教育学)※
		教育学の基礎 カリキュラム論 教育実習(事前指導) 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習[中・高] 教職演習
兼任	講師	紺野 英二 <令和3年4月> 修士(文学)
		博物館概論 博物館資料論 博物館展示論 館務実習 考古学1 考古学2 博物館実習[考古] 施設見学実習1
兼任	准教授	下岡 順直 <令和3年4月> 博士(文学)
		地学Ⅰ
兼任	講師	青木 和昭 <令和3年4月> 博士(情報科学)
		微分積分学演習
兼任	教授	北島 健一 <令和4年4月> 経済学修士※
		経済学概説 現代日本の経済と社会

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	兼任	中井 万知子 <令和3年4月> 文学士
		図書館情報資源概論 情報資源組織論 情報資源組織演習 1
兼任	兼任	中川 清隆 <令和3年4月> 理学博士
		自然観の変遷

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中井 万知子 <令和3年4月> 文学士
		図書館情報資源概論 情報資源組織論 情報資源組織演習 1
兼任	講師	中川 清隆 <令和4年4月> 理学博士
		自然観の変遷【隔年】

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	増田 耕一 <令和4年4月> 理学博士
		自然観の変遷【隔年】
兼任	教授	佐藤 毅彦 <令和4年4月> 学士(法律学)
		図書館概論 図書・図書館史 図書館情報資源概論 情報資源組織論
兼任	講師	関根 一希 <令和4年4月> 博士(理学)
		基礎生物学
兼任	講師	中井 万知子 <令和3年4月> 文学士
		情報資源組織演習 1

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	兼任	深谷 良治 <令和5年4月> Master of Science inEngineering Economic Systems (米国)
		社会応用データサイエンス
兼任	兼任	横田 恵三郎 <令和5年4月> 商学士
		ホスピタリティマネジメント
兼任	兼任	工藤 康宏 <令和4年4月> 博士 (スポーツ健康科学)
		スポーツツーリズム
兼任	兼任	坂本 和靖 <令和4年4月> 博士 (経済学)
		計量経済学
兼任	兼任	小堀 守 <令和4年4月> 文学士
		国際観光政策
兼任	兼任	鈴木パーカー ジョセフ トリン <令和3年4月> 学士(アジア研究学) (日本語学)
		基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 実践英語Ⅰ 実践英語Ⅱ

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	深谷 良治 <令和5年4月> Master of Science inEngineering Economic Systems (米国)
		社会応用データサイエンス
兼任	講師	横田 恵三郎 <令和5年4月> 商学士
		ホスピタリティマネジメント
兼任	講師	工藤 康宏 <令和4年4月> 博士 (スポーツ健康科学)
		スポーツツーリズム
兼任	講師	坂本 和靖 <令和4年4月> 博士 (経済学)
		計量経済学
兼任	講師	小堀 守 <令和4年4月> 文学士
		国際観光政策
兼任	講師	鈴木パーカー ジョセフ トリン <令和3年4月> 学士(アジア研究学) (日本語学)
		基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 実践英語Ⅰ 実践英語Ⅱ

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	深谷 良治 <令和5年4月> Master of Science inEngineering Economic Systems (米国)
		社会応用データサイエンス
兼任	講師	横田 恵三郎 <令和5年4月> 商学士
		ホスピタリティマネジメント
兼任	講師	工藤 康宏 <令和4年4月> 博士 (スポーツ健康科学)
		スポーツツーリズム
兼任	講師	坂本 和靖 <令和4年4月> 博士 (経済学)
		計量経済学
兼任	講師	小堀 守 <令和4年4月> 文学士
		国際観光政策
兼任	講師	鈴木パーカー ジョセフ トリン <令和3年4月> 学士(アジア研究学) (日本語学)
		基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 実践英語Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	兼任	森川 慶子 <令和3年4月> 学士(文学士)
		基礎英語 I 基礎英語 II 実践英語 I 実践英語 II
兼任	兼任	Ford Robert Arthur <令和3年4月> MA TESOL (英国)
		基礎英語 I 基礎英語 II 実践英語 I 実践英語 II
兼任	兼任	野村(金久保) 恵理子 <令和4年4月> 修士(文学)※
		実践英語 I 実践英語 II 実践英語 III 実践英語 IV
兼任	兼任	青木 茂雄 <令和4年4月> 経済学士
		特別活動論
兼任	兼任	石本 祐二 <令和3年4月> 教育学士
		教育学の基礎 教職概論 教育行政学 道德教育の理論と実践 生徒・進路指導論

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	森川 慶子 <令和3年4月> 学士(文学士)
		基礎英語 I 基礎英語 II 実践英語 I 実践英語 II
兼任	講師	Ford Robert Arthur <令和4年4月> MA TESOL (英国)
		実践英語 I 実践英語 II
兼任	講師	野村(金久保) 恵理子 <令和4年4月> 修士(文学)※
		実践英語 I 実践英語 II 実践英語 III 実践英語 IV
兼任	講師	青木 茂雄 <令和4年4月> 経済学士
		特別活動論
兼任	講師	石本 祐二 <令和4年4月> 教育学士
		道德教育の理論と実践

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	森川 慶子 <令和3年4月> 学士(文学士)
		基礎英語 I 基礎英語 II 実践英語 I
兼任	講師	野村(金久保) 恵理子 <令和4年4月> 修士(文学)※
		実践英語 I 実践英語 II 実践英語 III 実践英語 IV 基礎英語 I 基礎英語 II
兼任	講師	石本 祐二 <令和4年4月> 教育学士
		道德教育の理論と実践

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	兼任	大津 悦夫 ＜令和3年4月＞ 教育学修士※
		教育心理学 学習心理学 青年心理学
兼任	兼任	金山(渡邊) 富貴子 ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)(心理学)※
		教育心理学 生徒理解と教育相談
兼任	兼任	宮崎(経澤) 智絵 ＜令和5年4月＞ 文学修士※
		教育社会学 情報教育論Ⅰ 情報教育論Ⅱ
兼任	兼任	望月 由孝 ＜令和4年4月＞ 法学士
		特別活動論
兼任	兼任	永澤 義弘 ＜令和4年4月＞ 修士(社会福祉学)
		生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ 教職特講 現代社会と社会教育 社会教育行政論
兼任	兼任	西谷 善子 ＜令和3年4月＞ 博士(体育学)
		健康スポーツ実習1 健康スポーツ実習2

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大津 悦夫 ＜令和3年4月＞ 教育学修士※
		教育心理学 学習心理学 青年心理学
兼任	講師	金山(渡邊) 富貴子 ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)(心理学)※
		教育心理学
兼任	講師	宮崎(経澤) 智絵 ＜令和5年4月＞ 文学修士※
		教育社会学 情報教育論Ⅰ 情報教育論Ⅱ
兼任	講師	望月 由孝 ＜令和4年4月＞ 法学士
		特別活動論
兼任	講師	永澤 義弘 ＜令和4年4月＞ 修士(社会福祉学)
		生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ 教職特講 現代社会と社会教育 社会教育行政論
兼任	講師	西谷 善子 ＜令和3年4月＞ 博士(体育学)
		健康スポーツ実習1 健康スポーツ実習2

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大津 悦夫 ＜令和3年4月＞ 教育学修士※
		教育心理学 学習心理学 青年心理学
兼任	講師	金山(渡邊) 富貴子 ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)(心理学)※
		教育心理学
兼任	講師	宮崎(経澤) 智絵 ＜令和5年4月＞ 文学修士※
		教育社会学 情報教育論Ⅰ 情報教育論Ⅱ
兼任	講師	望月 由孝 ＜令和4年4月＞ 法学士
		特別活動論
兼任	講師	永澤 義弘 ＜令和4年4月＞ 修士(社会福祉学)
		生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ 教職特講 現代社会と社会教育 社会教育行政論
兼任	講師	西谷 善子 ＜令和3年4月＞ 博士(体育学)
		健康スポーツ実習1 健康スポーツ実習2

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	兼任	宮内 環 <令和3年4月> 修士(経済学)
		経済学概説 現代日本の経済と社会
兼任	兼任	白井 雅人 <令和3年4月> 修士(哲学)
		哲学とは何か 哲学の基本諸問題
兼任	兼任	伊藤 健彦 <令和3年4月> 博士(理学)
		生物多様性と社会【隔年】
兼任	兼任	荒井 俊行 <令和3年4月> 博士(人間科学)
		発達心理学入門
兼任	兼任	井之口 智亮 <令和3年4月> 修士(政治学)※
		現代日本の政治と社会
兼任	兼任	内田 智 <令和3年4月> 修士(政治学)※
		政治学概説
兼任	兼任	大山 雅嗣 <令和3年4月> 文学士
		キャリア開発基礎講座Ⅱ

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宮内 環 <令和3年4月> 修士(経済学)
		経済学概説 現代日本の経済と社会
兼任	講師	白井 雅人 <令和3年4月> 修士(哲学)
		哲学とは何か 哲学の基本諸問題
兼任	講師	伊藤 健彦 <令和3年4月> 博士(理学)
		生物多様性と社会【隔年】
兼任	講師	荒井 俊行 <令和3年4月> 博士(人間科学)
		発達心理学入門
兼任	講師	井之口 智亮 <令和3年4月> 修士(政治学)※
		現代日本の政治と社会
兼任	講師	内田 智 <令和3年4月> 修士(政治学)※
		政治学概説
兼任	講師	大山 雅嗣 <令和3年4月> 文学士
		キャリア開発基礎講座Ⅱ

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	白井 雅人 <令和3年4月> 修士(哲学)
		哲学とは何か 哲学の基本諸問題
兼任	講師	井之口 智亮 <令和3年4月> 修士(政治学)※
		現代日本の政治と社会
兼任	講師	内田 智 <令和3年4月> 修士(政治学)※
		政治学概説
兼任	講師	大山 雅嗣 <令和3年4月> 文学士
		キャリア開発基礎講座Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	兼任	岡本 健 <令和3年4月> 修士(フランス文学)※
		フランスの言語と文化 I フランスの言語と文化 II
兼任	兼任	賀 貝 <令和3年4月> 博士(商学)
		中国の言語と文化 I 中国の言語と文化 II
兼任	兼任	九島 紀子 <令和3年4月> 博士(心理学)
		社会心理学入門
兼任	兼任	金 娜玄 <令和3年4月> 博士(文学)
		コリアの言語と文化 I コリアの言語と文化 II
兼任	兼任	小泉 吉永 <令和3年4月> 博士(学術)
		歴史学概説 史学方法論
兼任	兼任	齊藤 明美 <令和3年4月> 博士(文学)(韓国)
		日本の自然と風土【隔年】 日本の生活と文化【隔年】 実践日本語 I 実践日本語 II
兼任	兼任	佐野(高邊) 友里 <令和5年4月> 修士(政策学)
		キャリア開発基礎講座Ⅲ

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡本 健 <令和3年4月> 修士(フランス文学)※
		フランスの言語と文化 I フランスの言語と文化 II
兼任	講師	賀 貝 <令和3年4月> 博士(商学)
		中国の言語と文化 I 中国の言語と文化 II
兼任	講師	九島 紀子 <令和3年4月> 博士(心理学)
		社会心理学入門
兼任	講師	金 娜玄 <令和3年4月> 博士(文学)
		コリアの言語と文化 I コリアの言語と文化 II
兼任	講師	齊藤 明美 <令和3年4月> 博士(文学)(韓国)
		日本の自然と風土【隔年】 実践日本語 I 実践日本語 II
兼任	講師	佐野(高邊) 友里 <令和5年4月> 修士(政策学)
		キャリア開発基礎講座Ⅲ

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡本 健 <令和3年4月> 修士(フランス文学)※
		フランスの言語と文化 I フランスの言語と文化 II
兼任	講師	賀 貝 <令和3年4月> 博士(商学)
		中国の言語と文化 I 中国の言語と文化 II
兼任	講師	九島 紀子 <令和3年4月> 博士(心理学)
		社会心理学入門
兼任	講師	金 娜玄 <令和3年4月> 博士(文学)
		コリアの言語と文化 I コリアの言語と文化 II
兼任	講師	齊藤 明美 <令和3年4月> 博士(文学)(韓国)
		日本の生活と文化【隔年】 実践日本語 I 実践日本語 II
兼任	講師	佐野(高邊) 友里 <令和5年4月> 修士(政策学)
		キャリア開発基礎講座Ⅲ

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	兼任	渋沢 妃生子 ＜令和3年4月＞ 家政学士
		実践日本語Ⅰ 実践日本語Ⅱ
兼任	兼任	竹村 恭一郎 ＜令和3年4月＞ 修士(独文学)※
		ドイツの言語と文化Ⅰ ドイツの言語と文化Ⅱ
兼任	兼任	戸森 優季 ＜令和3年4月＞ 修士(文化科学)
		キャリア開発基礎講座Ⅰ
兼任	兼任	永野 潤 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		哲学とは何か 哲学の基本諸問題
兼任	兼任	西谷内 博美 ＜令和3年4月＞ 博士(政策科学)
		環境社会学入門
兼任	兼任	三友 量順 ＜令和3年4月＞ Ph.D(インド)
		仏教の思想と歴史 現代社会と仏教

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	渋沢 妃生子 ＜令和3年4月＞ 家政学士
		実践日本語Ⅰ 実践日本語Ⅱ
兼任	講師	竹村 恭一郎 ＜令和3年4月＞ 修士(独文学)※
		ドイツの言語と文化Ⅰ ドイツの言語と文化Ⅱ
兼任	講師	戸森 優季 ＜令和3年4月＞ 修士(文化科学)
		キャリア開発基礎講座Ⅰ
兼任	講師	永野 潤 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		哲学とは何か 哲学の基本諸問題
兼任	講師	西谷内 博美 ＜令和3年4月＞ 博士(政策科学)
		環境社会学入門

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	渋沢 妃生子 ＜令和3年4月＞ 家政学士
		実践日本語Ⅰ 実践日本語Ⅱ
兼任	講師	竹村 恭一郎 ＜令和3年4月＞ 修士(独文学)※
		ドイツの言語と文化Ⅰ ドイツの言語と文化Ⅱ
兼任	講師	戸森 優季 ＜令和3年4月＞ 修士(文化科学)
		キャリア開発基礎講座Ⅰ
兼任	講師	永野 潤 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)
		哲学とは何か 哲学の基本諸問題
兼任	講師	西谷内 博美 ＜令和3年4月＞ 博士(政策科学)
		環境社会学入門



【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	兼任	吉岡 茂 ＜令和4年4月＞ 経済学修士
		情報と職業 マルチメディア基礎 マルチメディア実習 プログラミング応用 統計学実習Ⅱ 情報と産業 質的データ解析実習
兼任	兼任	吉村 純司 ＜令和3年4月＞ 文学修士※
		文学入門 比較文学論
兼任	兼任	坂田 精二郎 ＜令和4年4月＞ 学士(法学)
		データによる戦術・戦略Ⅰ データによる戦術・戦略Ⅱ
兼任	兼任	杉田 守 ＜令和4年4月＞ 学士(経営学)
		データによる戦術・戦略Ⅰ データによる戦術・戦略Ⅱ
兼任	兼任	堀越 正己 ＜令和4年4月＞ 修士(コーチ)
		データによる戦術・戦略Ⅰ データによる戦術・戦略Ⅱ

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉岡 茂 ＜令和4年4月＞ 経済学修士
		情報と職業 マルチメディア基礎 マルチメディア実習 プログラミング応用 統計学実習Ⅱ 情報と産業 質的データ解析実習
兼任	講師	吉村 純司 ＜令和3年4月＞ 文学修士※
		文学入門 比較文学論
兼任	講師	坂田 精二郎 ＜令和4年4月＞ 学士(法学)
		データによる戦術・戦略Ⅰ データによる戦術・戦略Ⅱ
兼任	講師	杉田 守 ＜令和4年4月＞ 学士(経営学)
		データによる戦術・戦略Ⅰ データによる戦術・戦略Ⅱ
兼任	講師	堀越 正己 ＜令和4年4月＞ 修士(コーチ)
		データによる戦術・戦略Ⅰ データによる戦術・戦略Ⅱ

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉岡 茂 ＜令和4年4月＞ 経済学修士
		情報と職業 マルチメディア基礎 マルチメディア実習 プログラミング応用 統計学実習Ⅱ 情報と産業 質的データ解析実習
兼任	講師	吉村 純司 ＜令和3年4月＞ 文学修士※
		文学入門 比較文学論
兼任	講師	坂田 精二郎 ＜令和4年4月＞ 学士(法学)
		データによる戦術・戦略Ⅰ データによる戦術・戦略Ⅱ
兼任	講師	杉田 守 ＜令和4年4月＞ 学士(経営学)
		データによる戦術・戦略Ⅰ データによる戦術・戦略Ⅱ
兼任	講師	堀越 正己 ＜令和4年4月＞ 修士(コーチ)
		データによる戦術・戦略Ⅰ データによる戦術・戦略Ⅱ

## 【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	兼任	中村 孝生 ＜令和4年4月＞ 体育学士
		データによる戦術・戦略Ⅰ データによる戦術・戦略Ⅱ
兼任	兼任	小林 美千代 ＜令和3年4月＞ 理学修士
		基礎数学 基礎統計学 微分積分学演習 線形代数学演習
兼任	兼任	秋山 笑子 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		博物館展示論
兼任	兼任	荒川 竜一 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		博物館実習〔自然〕
兼任	兼任	井上 尚明 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		博物館情報・メディア論
兼任	兼任	植原 孝行 ＜令和4年4月＞ 文学士
		社会教育活動論 社会教育施設論
兼任	兼任	江澤 和雄 ＜令和3年4月＞ 教育学修士
		図書館概論

## 【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中村 孝生 ＜令和4年4月＞ 体育学士
		データによる戦術・戦略Ⅰ データによる戦術・戦略Ⅱ
兼任	講師	小林 美千代 ＜令和3年4月＞ 理学修士
		微分積分学演習 線形代数学演習
兼任	講師	秋山 笑子 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		博物館展示論
兼任	講師	荒川 竜一 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		博物館実習〔自然〕
兼任	講師	井上 尚明 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		博物館情報・メディア論
兼任	講師	植原 孝行 ＜令和4年4月＞ 文学士
		社会教育活動論 社会教育施設論
兼任	講師	江澤 和雄 ＜令和3年4月＞ 教育学修士
		図書館概論

## 【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中村 孝生 ＜令和4年4月＞ 体育学士
		データによる戦術・戦略Ⅰ データによる戦術・戦略Ⅱ
兼任	講師	小林 美千代 ＜令和3年4月＞ 理学修士
		微分積分学演習 線形代数学演習
兼任	講師	秋山 笑子 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		博物館展示論 生活文化史【隔年】
兼任	講師	荒川 竜一 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		博物館実習〔自然〕
兼任	講師	井上 尚明 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		博物館情報・メディア論

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	兼任	及川 良彦 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		文化史 1
兼任	兼任	大澤 慶子 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		美術史概論 現代美術論
兼任	兼任	大澤 伸啓 ＜令和4年4月＞ 考古学士
		考古学概論 文化財保存論 博物館実習〔考古〕
兼任	兼任	大塚 敏夫 ＜令和4年4月＞ 文学士
		図書館情報技術論 情報サービス演習 1 情報サービス演習 2
兼任	兼任	奥田 敦子 ＜令和5年4月＞ 修士(美術教育学)
		美術史 1 美術史 2
兼任	兼任	梶ヶ山 真里 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		文化史 2

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	及川 良彦 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		文化史 1
兼任	講師	大澤 慶子 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		美術史概論 現代美術論
兼任	講師	大澤 伸啓 ＜令和4年4月＞ 考古学士
		考古学概論 文化財保存論 博物館実習〔考古〕
兼任	講師	大塚 敏夫 ＜令和4年4月＞ 文学士
		図書館情報技術論 情報サービス演習 1 情報サービス演習 2
兼任	講師	奥田 敦子 ＜令和5年4月＞ 修士(美術教育学)
		美術史 1 美術史 2
兼任	講師	梶ヶ山 真里 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		文化史 2

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大澤 慶子 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		美術史概論 現代美術論
兼任	講師	大澤 伸啓 ＜令和4年4月＞ 考古学士
		考古学概論 文化財保存論 博物館実習〔考古〕
兼任	講師	大塚 敏夫 ＜令和4年4月＞ 文学士
		図書館情報技術論 情報サービス演習 1 情報サービス演習 2
兼任	講師	奥田 敦子 ＜令和5年4月＞ 修士(美術教育学)
		美術史 1 美術史 2
兼任	講師	梶ヶ山 真里 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		文化史 2

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	兼任	片岡 了 <令和4年4月> 文学修士
		社会教育経営論Ⅰ 社会教育経営論Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ 生涯学習支援論Ⅱ 社会教育課題研究Ⅰ 社会教育課題研究Ⅱ
兼任	兼任	唐澤 至朗 <令和3年4月> 文学博士
		博物館教育論 博物館経営論
兼任	兼任	倉田 恵津子 <令和3年4月> 文学士
		博物館教育論 博物館資料論
兼任	兼任	黒沢 克朗 <令和4年4月> 教育学士
		児童サービス論
兼任	兼任	鈴木 章生 <令和5年4月> 文学博士
		民俗学1 民俗学2
兼任	兼任	瀬島 健二郎 <令和4年4月> 政治学士
		図書館サービス概論

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	片岡 了 <令和4年4月> 文学修士
		社会教育経営論Ⅰ 社会教育経営論Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ 生涯学習支援論Ⅱ 社会教育課題研究Ⅰ 社会教育課題研究Ⅱ
兼任	講師	唐澤 至朗 <令和3年4月> 文学博士
		博物館教育論 博物館経営論
兼任	講師	倉田 恵津子 <令和3年4月> 文学士
		博物館教育論 博物館資料論
兼任	講師	黒沢 克朗 <令和4年4月> 教育学士
		児童サービス論
兼任	講師	鈴木 章生 <令和5年4月> 文学博士
		民俗学1 民俗学2
兼任	講師	瀬島 健二郎 <令和4年4月> 政治学士
		図書館サービス概論

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	片岡 了 <令和4年4月> 文学修士
		社会教育経営論Ⅰ 社会教育経営論Ⅱ 生涯学習支援論Ⅰ 生涯学習支援論Ⅱ
兼任	講師	唐澤 至朗 <令和3年4月> 文学博士
		博物館教育論 博物館経営論
兼任	講師	倉田 恵津子 <令和3年4月> 文学士
		博物館教育論 博物館資料論
兼任	講師	黒沢 克朗 <令和4年4月> 教育学士
		児童サービス論
兼任	講師	鈴木 章生 <令和5年4月> 文学博士
		民俗学1 民俗学2
兼任	講師	瀬島 健二郎 <令和4年4月> 政治学士
		図書館サービス概論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	兼任	滝口 正哉 <令和6年4月> 博士(文学)
		博物館実習 [古文書]
兼任	兼任	佃 一可 <令和4年4月> 文学士
		図書・図書館史 図書館基礎特論
兼任	兼任	豊田 佳伸 <令和5年4月> 文学士
		博物館資料保存論 施設見学実習2
兼任	兼任	橋本(白井) 直子 <令和4年4月> 博士(環境学)
		博物館資料論
兼任	兼任	林 勉 <令和3年4月> 学士(物理学)
		博物館教育論 博物館実習 [自然]
兼任	兼任	平林 善春 <令和5年4月> 文学修士
		学校図書館メディアの構成
兼任	兼任	福田(小林) 訓子 <令和6年4月> 修士(文学)
		博物館実習 [美術]

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	滝口 正哉 <令和6年4月> 博士(文学)
		博物館実習 [古文書]
兼任	講師	佃 一可 <令和4年4月> 文学士
		図書・図書館史 図書館基礎特論
兼任	講師	豊田 佳伸 <令和5年4月> 文学士
		博物館資料保存論 施設見学実習2
兼任	講師	橋本(白井) 直子 <令和4年4月> 博士(環境学)
		博物館資料論
兼任	講師	林 勉 <令和3年4月> 学士(物理学)
		博物館教育論 博物館実習 [自然]
兼任	講師	平林 善春 <令和5年4月> 文学修士
		学校図書館メディアの構成
兼任	講師	福田(小林) 訓子 <令和6年4月> 修士(文学)
		博物館実習 [美術]

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	滝口 正哉 <令和6年4月> 博士(文学)
		博物館実習 [古文書]
兼任	講師	佃 一可 <令和5年4月> 文学士
		図書館基礎特論
兼任	講師	豊田 佳伸 <令和5年4月> 文学士
		博物館資料保存論 施設見学実習2
兼任	講師	橋本(白井) 直子 <令和4年4月> 博士(環境学)
		博物館資料論
兼任	講師	林 勉 <令和3年4月> 学士(物理学)
		博物館教育論 博物館実習 [自然]
兼任	講師	平林 善春 <令和5年4月> 文学修士
		学校図書館メディアの構成
兼任	講師	福田(小林) 訓子 <令和6年4月> 修士(文学)
		博物館実習 [美術]

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	兼任	村上 詠子 <令和4年4月> 文学修士
		学校経営と学校図書館 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性
兼任	兼任	望月 有希子 <令和5年4月> 博士(図書館情報学)
		情報資源組織演習 2
兼任	兼任	安田 治樹 <令和5年4月> 文学博士
		日本美術史 1 日本美術史 2
兼任	兼任	李 東真 <令和5年4月> 博士(社会情報学)
		情報メディアの活用
兼任	兼任	佐久間 貴士 <令和3年4月> 修士(工学)※
		微分積分学演習
兼任	兼任	三好 善彦 <令和4年4月> 理学修士※
		統計学実習 I 統計学実習 II

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	村上 詠子 <令和4年4月> 文学修士
		学校経営と学校図書館 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性
兼任	講師	望月 有希子 <令和5年4月> 博士(図書館情報学)
		情報資源組織演習 2
兼任	講師	安田 治樹 <令和5年4月> 文学博士
		日本美術史 1 日本美術史 2
兼任	講師	李 東真 <令和5年4月> 博士(社会情報学)
		情報メディアの活用
兼任	講師	佐久間 貴士 <令和3年4月> 修士(工学)※
		微分積分学演習
兼任	講師	三好 善彦 <令和4年4月> 理学修士※
		統計学実習 I 統計学実習 II

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	村上 詠子 <令和4年4月> 文学修士
		学校経営と学校図書館 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性
兼任	講師	望月 有希子 <令和5年4月> 博士(図書館情報学)
		情報資源組織演習 2
兼任	講師	安田 治樹 <令和5年4月> 文学博士
		日本美術史 1 日本美術史 2
兼任	講師	李 東真 <令和5年4月> 博士(社会情報学)
		情報メディアの活用
兼任	講師	佐久間 貴士 <令和3年4月> 修士(工学)※
		微分積分学演習 線形代数学演習
兼任	講師	三好 善彦 <令和4年4月> 理学修士※
		統計学実習 II

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	兼任	永田 清 <令和4年4月> 工学博士(情報工学)
		統計学実習 I 統計学実習 II
兼任	兼任	青木 智子 <令和4年4月> 博士(文学)
		統計学実習 II

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	永田 清 <令和4年4月> 工学博士(情報工学)
		統計学実習 I 統計学実習 II
兼任	講師	青木 智子 <令和4年4月> 博士(文学)
		統計学実習 II
兼任	講師	清水 徹郎 <令和3年4月> 修士(文学)
		基礎英語 I 基礎英語 II
兼任	講師	渡瀬 泰茂 <令和3年4月> 博士(工学)
		微分積分学演習

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	永田 清 <令和4年4月> 工学博士(情報工学)
		統計学実習 I 統計学実習 II
兼任	講師	清水 徹郎 <令和3年4月> 修士(文学)
		基礎英語 I 基礎英語 II 実践英語 I
兼任	講師	渡瀬 泰茂 <令和3年4月> 博士(工学)
		微分積分学演習 線形代数学演習 統計学実習 II
兼任	講師	Dodangeh Abdullah <令和4年4月> Doktora Diploması (トルコ)
		実践英語 II
兼任	講師	今枝 昌浩 <令和4年4月> 修士(法学)※
		法学入門[日本国憲法を含む] 法律学概説
兼任	講師	奥貫 拓実 <令和4年4月> 博士(スポーツ科学)
		統計学実習 I 統計学実習 II

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	荒川 智匡 <令和4年4月> 博士(理学)
		線形代数学演習
兼任	講師	金剛 弘樹 <令和4年4月> 学士(法学)
		データによる戦術・戦略 I データによる戦術・戦略 II
兼任	講師	増田 修治 <令和4年4月> 修士(教育学)
		教育方法論 I (総合的な学習の 時間の指導法を含む)
兼任	講師	北村 陽 <令和4年4月> 修士(学術)
		特別活動論
兼任	講師	清水 隆彦 <令和4年4月> 学士(工学)
		生徒・進路指導論
兼任	講師	齋藤 尚久 <令和4年4月> 文学士
		社会教育活動論 社会教育施設論 社会教育課題研究 I 社会教育課題研究 II
兼任	講師	白鳥 祐子 <令和4年4月> 博士(人類学)
		考古学 2



【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大谷 徹 <令和4年4月> 学士(史学)
		文化史1
兼任	講師	永越 信吾 <令和4年4月> 博士(文学)
		文化史2

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・兼任、兼任教員の職名を反映</li> <li>・米林 伸(兼任)教授において、隔年開講科目により就任(予定)年月を令和3年4月から令和4年4月へ変更</li> <li>・清水 海隆(兼任)教授において、担当科目の見直しにより就任(予定)年月を令和4年4月から令和3年4月へ変更</li> <li>・平井 壽子(兼任)教授において、退職による担当科目の見直しにより就任辞退</li> <li>・下岡 順直(兼任)准教授において、担当科目の見直しにより新たに科目を担当することとなり就任</li> <li>・青木 和昭(兼任)講師において、就任により(兼任)講師へ変更</li> <li>・中川 清隆(兼任)教授において、退職により(兼任)講師へ変更、また、隔年開講科目により就任(予定)年月を令和3年4月から令和4年4月へ変更</li> <li>・Ford Robert Arthur(兼任)講師において、担当科目の見直しにより2科目削除ならびに就任(予定)年月を令和3年4月から令和4年4月へ変更</li> <li>・石本 祐二(兼任)講師において、教職課程認定申請により4科目削除ならびに就任(予定)年月を令和3年4月から令和4年4月へ変更</li> <li>・金山(渡邊) 富貴子(兼任)講師において、教職課程認定申請により1科目削除</li> <li>・小泉 吉永(兼任)講師において、担当科目の見直しにより就任辞退</li> <li>・三友 量順(兼任)講師において、都合により就任辞退</li> <li>・小林 美千代(兼任)講師において、担当科目の見直しにより2科目削除</li> <li>・三好 善彦(兼任)講師において、認可時の年齢の誤記を訂正</li> <li>・清水 徹郎(兼任)講師において、担当科目の見直しにより新たに科目を担当することとなり就任</li> <li>・北村 行伸(専任)教授において、担当授業科目名の誤記を訂正</li> <li>・齊藤 明美(兼任)講師において、隔年開講科目により開設しなかった「日本の生活と文化【隔年】」の表記を削除</li> <li>・渡瀬 泰茂(兼任)講師において、新たに科目を担当することとなり就任</li> <li>・保有学位等の記載漏れ「※」を追記             <ul style="list-style-type: none"> <li>・位田 央(兼任)教授</li> <li>・内田 智(兼任)講師</li> <li>・佐久間 貴士(兼任)講師</li> <li>・三好 善彦(兼任)講師</li> </ul> </li> <li>・令和3年度の報告時の記載漏れにより追記             <ul style="list-style-type: none"> <li>・櫻井 一宏(兼任)准教授</li> <li>・岡田 愛(兼任)准教授</li> <li>・中島 和郎(兼任)講師</li> <li>・鈴木パーカー 明日香(兼任)講師</li> </ul> </li> </ul>
---

【令和4年度】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・中井 万知子(兼任)教授において、退職により(兼任)講師へ変更、担当科目変更</li> <li>・中島 和郎(兼任)において、准教授に昇格</li> <li>・担当科目の見直しにより科目を変更             <ul style="list-style-type: none"> <li>・所澤 潤(兼任)教授</li> </ul> </li> <li>・担当科目の見直しにより科目を追加             <ul style="list-style-type: none"> <li>・野村(金久保) 恵理子(兼任)講師</li> <li>・秋山 笑子(兼任)講師、担当科目追加により就任(予定)年月を変更</li> <li>・佐久間 貴士(兼任)講師</li> <li>・清水 徹郎(兼任)講師</li> <li>・渡瀬 泰茂(兼任)講師</li> </ul> </li> <li>・担当科目の見直しにより科目を一部削除             <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿嶋(佐藤) 真弓(兼任)教授</li> <li>・阿由葉 司(兼任)教授</li> <li>・友永 昌治(兼任)教授</li> <li>・高橋 洋行(兼任)准教授</li> <li>・青木 和昭(兼任)講師</li> <li>・鈴木パーカー ジョセフ トリン(兼任)講師</li> <li>・森川 慶子(兼任)講師</li> <li>・片岡 了(兼任)講師</li> <li>・佃 一可(兼任)講師、担当科目削除により就任(予定)年月を変更</li> <li>・三好 善彦(兼任)講師</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに科目を担当することとなり就任             <ul style="list-style-type: none"> <li>・北島 健一(兼任)教授</li> <li>・増田 耕一(兼任)教授</li> <li>・佐藤 毅彦(兼任)教授</li> <li>・関根 一希(兼任)講師</li> <li>・Dodangeh Abdullah(兼任)講師</li> <li>・今枝 昌浩(兼任)講師</li> <li>・奥貫 拓実(兼任)講師</li> <li>・荒川 智匡(兼任)講師</li> <li>・金剛 弘樹(兼任)講師</li> <li>・増田 修治(兼任)講師</li> <li>・北村 陽(兼任)講師</li> <li>・清水 隆彦(兼任)講師</li> <li>・齋藤 尚久(兼任)講師</li> <li>・白鳥 祐子(兼任)講師</li> <li>・大谷 徹(兼任)講師</li> <li>・永越 信吾(兼任)講師</li> </ul> </li> <li>・都合により就任辞退             <ul style="list-style-type: none"> <li>・位田 央(兼任)教授</li> <li>・岩崎 望(兼任)教授</li> <li>・中川 清隆(兼任)講師</li> <li>・Ford Robert Arthur(兼任)講師</li> <li>・青木 茂雄(兼任)講師</li> <li>・宮内 環(兼任)講師</li> <li>・荒井 俊行(兼任)講師</li> <li>・坂田 精二郎(兼任)講師</li> <li>・江澤 和雄(兼任)講師</li> <li>・及川 良彦(兼任)講師</li> <li>・梶ヶ山 真里(兼任)講師</li> <li>・青木 智子(兼任)講師</li> <li>・植原 孝行(兼任)講師</li> </ul> </li> </ul>
--	--

(注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。  
 ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
18	9
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
13	3	7	2	25	0	13	3	7	2	25	1
(13)	(3)	(7)	(2)	(25)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
13	3	7	2	25	1	13	3	7	2	25	1
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70	0	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{25}{25} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{25} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{1}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし						
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし						
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{25} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul>
---

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>該当なし</p>
-------------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
<p>認 可 時  (令和2年10月)</p>	<p>本学部は「『経済・ビジネス系の価値創造』に力点を置く」との説明がなされているが、経済分野の専任教員は少数であるため、同分野の専任教員を充実させることが望ましい。 (助言事項)</p>	<p>改善事項  今後の教員人事等において適切に対応する。</p>	<p>履行中  今後の教員人事等において、『経済・ビジネス系の価値創造』の教育に対応できる教員の採用を考えたい。</p>
<p>認 可 時</p>		<p>附帯事項（遵守事項）の指摘については、1年次必修科目の「情報処理の基礎」および「AI入門Ⅱ」においてプライバシーを学ぶ授業回を用意しているとともに、他の複数の1年次必修科目においてもモラルや倫理、プライバシーを学ぶ授業回を用意している。 1年次前期必修科目の「情報処理の基礎」では第13回「情報倫理／情報セキュリティ」および第14回「ソーシャルメディアの活用と情報文化の視点について」の授業回において、1年次後期必修科目の「AI入門Ⅱ」では第14回「AIと社会（法律、倫理、プライバシーの保護 等）」の授業回において学生へプライバシーに関する内容を教育している。また、「情報処理の基礎」の第1回「情報倫理eラーニングの利用法について」では授業外学修で活用している情報倫理eラーニングの利用法について学ぶ。このeラーニングによって授業外学修においてプライバシーや倫理について学ぶ機会を確保している。これら2科目の授業内容については認可時に提出したシラバスにおいても明示しており、授業担当者とプライバシーを含む内容を教育することを確認したためシラバスは変更していない。</p>	

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
(令和2年10月)	<p>モラルや倫理に関連する事項の一つとして言及されているプライバシーを学ぶ授業科目についてはいずれも選択科目となっているため、教育課程の中でプライバシーについて学ぶ機会を確保すること。</p>	<p>データサイエンス学部において、プライバシーを学ぶ機会は必修科目にも確保されている。1年次前期必修科目の「情報倫理」において、学生に必要とされるプライバシーに関連する内容を含む授業回を設けている。具体的には第7回「法律的な問題－サイバー犯罪① コンピュータを悪用した犯罪史－」、第8回「法律的な問題－サイバー犯罪② 頻発するサイバー犯罪－」、第9回「法律的な問題－個人情報保護と知的所有権① 情報化社会における様々な問題と知的所有権－」、第10回「法律的な問題－個人情報保護と知的所有権② 著作権－」、第11回「法律的な問題－個人情報保護と知的所有権③ 産業財産権－」、第12回「倫理的な問題－ネットワーク・エチケット－」、第13回「倫理的な問題－情報化社会で生じる問題－」においてプライバシーや倫理を含む授業回を設けている。</p> <p>さらに、1年次前期必修科目の「学修の基礎Ⅰ」では第7回「『モラリスト×エキスパート』を育む。」の授業回において、学生に単なる道徳心や倫理観以上の多面的な広がりの中身のあるモラリストとなるよう指導している。1年次後期必修科目の「学修の基礎Ⅱ」では第6回「情報収集術1（インターネットやソーシャルメディアによる情報の収集方法と注意点）」の授業回においてプライバシーに関する内容を教育している。加えて、1年次後期必修科目の「経営学」では第14回「企業の社会的責任・倫理とSDGs（倫理とデータサイエンス）」の授業回において企業の倫理についても学んでいる。</p> <p>以上のようにデータサイエンス学部ではプライバシーに加えモラルや倫理について学ぶ授業回を1年次必修科目の中に複数用意し、全入学生に対して受講を義務付けている。</p>	<p>履行中</p> <p>必修授業におけるプライバシー教育を継続する。</p>

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時  (令和2年10月)	教育課程において数学・情報・統計学の知識が求められる授業科目が多数必修となっているため、各授業科目を履修する上で知識が必ずしも十分でない学生に対しては学生個人の能力に応じた少人数のクラス編成でリメディアル教育を実施する等、学生に十分に配慮した対応を実施するほか、入学者選抜においてもリメディアル教育を学ぶために十分な数学的知識を有していることを確実に確認すること。加えて、データサイエンスに関連する知識の説明の中で、例えばHTMLは「プログラミング基礎」で対応する等としているが、シラバスに明確に反映されていないものもあるため、シラバスを修正し履修内容を学生に明確に示すこと。	遵守事項  数学の演習科目においては、プレイメントテストを実施し習熟度別クラス編成としている。 入学前教育においては数学を必修とし、中学校入学段階から高等学校卒業段階までの数学の知識を再確認している。さらに、補習授業を実施し学生の能力に応じた教育体制を整えた。 「HTML」については1年次必修授業「情報処理の基礎」において単元を設けて履修するよう配慮している。	履行中  数学の補習授業を実施し学生個人の能力をより向上させることができる教育体制を維持する。
認 可 時  (令和2年10月)	履修モデルに示される人材像とカリキュラム・ツリーに示される「ビジネス」等の分野についての整合性が不明確であるため、これらを学生に示す際には対応関係を明確にしておくことが望ましい。 (助言事項)	改善事項  履修モデルとカリキュラム・ツリーの対応関係については、新年度ガイダンスで口頭・オンデマンド動画により詳細を説明し、履修登録の参考になるよう配慮している。	履行中  履修モデルとカリキュラム・ツリーの対応関係が学生の参考となるよう配付資料やガイダンスでの説明の際に今後も配慮する。
認 可 時  (令和2年10月)	経済学分野の各領域に対応する教育課程において、データサイエンスの知見を生かした取組をより充実することが望ましい。 (助言事項)	改善事項  経済学分野の各領域の科目においてデータサイエンスの知見を教育できるよう配慮している。	履行中  今後の授業実施の際に助言事項を参考にする。
認 可 時  (令和2年10月)	「基礎数学」、「基礎統計」の履修内容は学部教育の授業水準として不適切であるため、教育課程内の授業として位置付けないこと。 なお、本学部の入学者選抜の形式を考慮すると、数学等の補習授業等については重要であると考えられるため、教育課程外のリメディアル教育として実施するなど、学生に十分に配慮した対応を実施すること。	遵守事項  「基礎数学」、「基礎統計学」についてはカリキュラムから削除した。 補習授業を実施し学生の能力に応じた教育体制を整えた。	履行中  数学の補習授業を実施し学生個人の能力をより向上させることができる教育体制を維持する。



区分	附帯事項等		履行状況		今後の実施計画
<p>認可時  (令和2年10月)</p>	<p>卒業論文あるいは卒業研究を評価する必修科目である「ゼミナールⅢ」、「ゼミナールⅣ」と新たに必修科目として設定された「卒業研究・卒業論文」については同時期の科目かつ履修内容が重複しているため、履修内容を整理の上、記載を適切に改めること。加えて、情報・数学・統計に関する他の授業科目等についても、適切な履修内容となっているか、他の授業科目等と重複が無いかなどを改めて確認の上、必要に応じて適切に改めること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>「ゼミナールⅢ（2単位）・Ⅳ（2単位）」、「卒業研究・卒業論文（4単位）」については、以下のように科目の特性を考慮し整理している。「ゼミナールⅢ・Ⅳ」については演習を中心とした授業への取り組みにより評価し、「卒業研究・卒業論文」については学生が主体的に取り組み作成した成果物を評価する科目である。「卒業研究・卒業論文」の卒業研究とはグループでアプリケーションの作成やデータ分析のシステム構築などに取り組んだ内容を報告書として、卒業論文とは個人で研究論文に取り組み執筆した論文を成果物とする。</p> <p>卒業研究や卒業論文については「大学設置基準 第二十一条 3」を参照し、データサイエンス学部がその成果物及び学修内容や学修時間、取り組み状況（卒業研究発表大会や各研究領域の合同発表会などでの成果発表を含めた参加状況）等を評価し単位を定めている。</p> <p>以上のような科目の履修内容の整理結果、履修内容の不整合をシラバスおよび科目の概要に反映し修正した（追加確認事項別添1、追加確認事項別添2）。</p>	<p>履行中</p>	<p>「卒業研究・卒業論文」の履修内容を学生に周知する。</p> <p>情報・数学・統計に関する授業科目では、授業実施前、授業期間中などにミーティングを実施し、適切な履修内容となるよう調整を継続する。</p>
<p>認可時  (令和2年10月)</p>	<p>各資格取得のために必要な授業科目について、学生に明確に示すこと。（助言事項）</p>	<p>改善事項</p>	<p>新年度ガイダンスにおいて口頭で説明を実施するとともに、配付資料を用いて学生に周知している。</p>	<p>履行中</p>	<p>資格取得に関する科目が適切に学生に周知されるよう継続して取り組む。</p>
<p>認可時  (令和2年10月)</p>	<p>「微分積分学」、「線形代数学」等の必修科目が特定の教員に集中しているなど、一部教員の授業負担が懸念されるため、教員組織のより一層の充実等の対応をとることが望ましい。（助言事項）</p>	<p>改善事項</p>	<p>一部の教員に授業負担が集中しないよう体制を整えた。</p>	<p>履行中</p>	<p>一部の教員に授業負担が集中しないよう検討を進める。</p>

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画	
認 可 時  (令和2年10月)	完成年度には多くの学生が同時に卒業研究等を実施することになり、相当数のスペースや情報機器を使用することが想定されることから、そのことに十分配慮した施設・設備の活用や更なる充実に努めること。	情報機器を設置した教室を整備するとともに、学生が卒業研究等に集中して取り組むことができる研究室を整備する。 令和3年度には開設前年度より準備を進めていたアカデミックキューブ5階のA544教室とA510教室にデスクトップパソコンを設置し端末室として整備した。A544教室に60台、A510教室に38台を設置した。さらに、本学部の入学生には、卒業まで学部からノートパソコンを1台ずつ貸与している。ノートパソコンを貸与することによって、コンピュータ教室に限らず情報機器を利用した授業展開が可能となるとともに、学生は自宅等学外での授業外学修に活用することが可能となっている。同時にノートパソコンの利用環境についても整備を進めている。熊谷キャンパス内のWi-Fi設備についても順次増設を進めている。令和2年度にA414教室、令和3年度にA201教室とA301教室に整備済みであり、令和4年度に1101教室を整備する予定である。	履行中	令和4年度の整備計画では同年度中にデスクトップパソコン60台を立正大学熊谷キャンパスのアカデミックキューブ5階に設置予定である。これらは学生研究室に設置されるものであり、具体的にはA521学生研究室にWindowsを5台、A522学生研究室にWindowsを5台、A523学生研究室にWindowsを15台、Macを9台、A533学生研究室にWindowsを16台、A534学生研究室にWindowsを5台、A535学生研究室にWindowsを5台の計60台である。この整備計画ではコンピュータに加え、必要となるネットワーク機器や什器も整備する予定であり業者選定を実施し工事計画を進めている。学生研究室は3年次以降に学生が所属するゼミナール等の課題に取り組むために整備を進めている。 なお、アカデミックキューブ5階にはデータサイエンス学部に所属するすべてのデータサイエンス学部専任教員の研究室が位置しているため、卒業研究等に取り組む学生と教員間の密な交流が可能となっている。
認 可 時  (令和2年10月)	教員の補充を必要とされた2授業科目については、科目開講時までに教員を充足すること。	保留の理由「科目内容が不明瞭」の対応として、令和2年10月修正として、当該科目の「授業科目の概要」と「シラバス」を修正し、提出した。 その後、令和3年度第3回のAC教員審査を受審し、「可」の判定を受け、当該の科目を専任教員で開設する事を確認した。	履行中	授業計画に基づいた適切な授業実施が可能となるよう配慮する。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <データサイエンス学部 データサイエンス学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 編入学選抜の実施について 入試選抜区分および募集定員に編入学選抜の記載なし</li>   <li>・ 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）</li>   <li>・ 授業科目の概要 （キャリア開発基礎講座Ⅱ、キャリア開発基礎講座Ⅲ）</li>   <li>・ 学則 （収容定員の年次推移の表）</li>   <li>・ 助手の任用について 専任教員数等において助手の任用計画なし</li> </ul>	<p>他大学等においてデータサイエンス教育が拡充されている状況に鑑み、若干名の募集定員で編入学選抜を設定。令和4年度入試での志願者は0名であったが、今後も多様な受験の機会を設ける事で需要に応えたい。 （別添2「新旧対照表」参照）</p> <p>昨今の高校での進路指導における入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）の活用機会増を鑑み、大学全体として受験生の目線に沿った入学者受け入れの方針の改訂の動きがあり、本学部も認可時の入学者受け入れの方針を補足する文言を追記した。認可時の内容を補足説明するもので、方針自体の変更ではない。 （別添2「新旧対照表」参照）</p> <p>授業科目の名称の誤記の訂正 （別添2「新旧対照表」参照）</p> <p>心理学部の学科名称の誤記の訂正 （別添2「新旧対照表」参照）</p> <p>学生に配付している端末の運用管理と学生へのサポート体制を充実させるため、助手を雇用した。学部の保有する機器の管理に専念する教員となるため管理体制を充実させた。</p>

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

授業の改善および教育研究水準の向上に関して全学的な立場で審議し、FDを推進するため、立正大学FD委員会を設置している。また、三つの方針に基づいた教育および教育改革を推進することを目的とした全学教育推進センターにおいて、全学教育推進センター運営委員会を設置している。

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD委員会：2021年度は学部・大学院合同で1回開催  
全学教育推進センター運営委員会：2021年度は17回開催

#### c 委員会の審議事項等

FD委員会：授業改善のための基本方針および実施体制に関する事項、授業評価の実施に関する事項、教授方法等の改善のための支援に関する事項、各学部等が行うFDの支援に関する事項、FDの推進・啓発を目的とした講演会および教職員の研修等に関する事項、その他FDに必要な事項

全学教育推進センター運営委員会：教育の質保証に係る施策の企画、実施および支援に関すること、初年次教育・全学共通教養教育の推進、および企画、運営に関すること、全学的な外国語教育充実のための教育内容および教育方法の改善に関すること、博物館学芸員、図書館司書などの資格に係る教育内容および教育方法の改善に関すること、立正大学学則第9条に定めるセンター間の教育に係る調整に関すること、大学間協定に基づく教育連携に関すること、教育活動を改善および推進するために必要な教学情報の収集および分析の支援に関すること、学修施策の推進に関すること、その他の教育および教育改革の推進に関すること

なお、FDについては、実施方針についてはFD委員会が、具体的な実施方法の検討および実施を全学教育推進センターが担う。

### ② 実施状況

#### a 実施内容

- ・学生による授業改善アンケート
- ・新入生アンケート
- ・卒業生アンケート
- ・FD講演会、FD・SD講演会
- ・シラバス作成ガイドラインの策定やシラバス第三者チェック

#### b 実施方法

- ・各種アンケートはWebにて実施
- ・FD講演会、FD・SD講演会はオンラインまたは対面にて実施
- ・シラバス第三者チェックは、全学教育推進センター運営委員会にて確認項目を決定の上、各学部・研究科にて実施

#### c 開催状況（教員の参加状況含む）

5月24日 FD・SD セミナー「キホンを知る！『大学評価×内部質保証』を育む」（自己点検・評価委員会主催）開催：59名参加  
8月6日 「自己点検・評価入門研修会」（自己点検・評価委員会主催）開催：31名参加  
10月6日 「障害学生支援に関するFD研修会」（障害学生支援協議会主催）開催：26名参加  
11月12日 研究会「教育のデジタル化を踏まえた学習データの利活用に関する提言」（情報環境基盤センター主催）開催：21名参加  
12月18日 FD研修会「新学習指導要領と2025年度入試」（入試センター主催）開催：79名参加  
1月21日 FD勉強会「DS授業における公的統計データの利活用」（データサイエンスセンター主催）開催：17名参加  
2月24日 全学FD研修会「大学教員が気をつけるべき著作権の問題について」（全学教育推進センター主催）開催：45名参加

当日参加できなかった場合は、動画視聴可能としているが、動画視聴者数については未確認。

#### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・授業改善アンケートの結果、ベストクラス賞を受賞した教員は授業の実施方法や工夫を、FD講演会やFD News Letterなどで全教員へ共有することとしている。
- ・シラバス第三者チェックにおける指摘は、シラバス公開前に修正する。

### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

#### a 実施の有無及び実施時期

各学期末（年2回）に、Web（c-learning）にて実施

#### b 教員や学生への公開状況、方法等

報告書を作成しPDFで公開している。また教員・学生とも個別の結果はWebで確認が可能となっている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

データサイエンス学部は、データサイエンスを学ぶ上で必要となる知識や技術について基礎から応用まで学ぶことができるよう講義や実習（データサイエンス科目群（データサイエンス基礎・発展））だけではなく、「ビジネス」「社会」「観光」「スポーツ」といった幅広い分野において、データサイエンスを用いた新たな価値を創造するための力を養う講義や実習（価値創造科目群（価値創造基礎・発展））も準備しており、これらによって「知識・技術」と「価値創造」の両輪にてビジネスをはじめとした社会のあらゆる現場で新たな価値を生み出す即戦力となるデータサイエンティストを養成することを目的として設置した。完成年度に向けて、設置の趣旨・目的の達成を目指す。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

・令和4年4月1日 公表

###### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

##### ③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

平成27年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（機関別認証評価）を受審し、平成28年3月に「大学基準に適合していると認定する」との評価結果を受けた。評価結果は大学ホームページに公表しており、さらに、この際に指摘を受けた事項については、改善に向けて継続的に取り組みを実施し、平成30年7月、同協会に改善報告書を提出した。なお、今年度（令和4年度）大学評価を受審中である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [ 公表後2～3ヶ月以内 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

令和4年度 設置計画履行状況報告  
追加確認事項別添1 新旧対照表（授業科目の概要）

— 旧 —

授 業 科 目 の 概 要 (データサイエンス学部データサイエンス学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 科 目	演習科目群	ゼミナールは、本学の教育の中で重要な位置を占めている。すなわち、ゼミナールに所属することで、専門領域の研究を、その分野の専門家である指導教員の下で、進めることができる。さらに、その研究の成果を卒業研究・卒業論文としてまとめる際にも、ゼミナールでの発表や教員の指導が重要になってくる。データサイエンス学部の学生にはいずれかのゼミナールに所属し、卒業研究か卒業論文を仕上げる必要がある。4年次第2期ではゼミナールで各自あるいはグループで探求するテーマに関して卒業研究あるいは卒業論文のかたちでまとめ提出する。	
	卒業研究・卒業論文	卒業論文は、ゼミナールに所属するメンバーが個人で取り組む研究であり、指導教員による指導を直接受けて、その問題意識、研究テーマの選択、研究方法、研究テーマに応じたデータの収集や取得、データの処理とその解釈、研究論文の書き方、研究成果のまとめ方、研究成果のプレゼンテーションの仕方など、本格的な研究を行う上での、基本的な作法を学ぶ。卒業論文は大学生活で学んだことの総仕上げである。卒業研究は、ゼミナールに所属する複数人数のグループが取り組む研究であり、卒業論文に代わる研究であると位置づける。この研究はグループで行うことで、研究上に必要なデータの取得、処理、分析、結果のとりまとめなどを分担し、計画的に研究を進めていくチームプレーを学び、またメンバー間で切磋琢磨することで、目標を達成するために必要な仕事の質を高めていくことを学ぶ。卒業研究は必ずしも論文の形式で提出する必要はないが、実質的に意味のある研究を行い、それを説得的にプレゼンテーションすることが求められる。	

— 新 —

授 業 科 目 の 概 要 (データサイエンス学部データサイエンス学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 科 目	演習科目群	ゼミナールは、本学の教育の中で重要な位置を占めている。すなわち、ゼミナールに所属することで、専門領域の研究を、その分野の専門家である指導教員の下で、進めることができる。さらに、その研究の成果を卒業研究・卒業論文としてまとめる際にも、ゼミナールでの発表や教員の指導が重要になってくる。データサイエンス学部の学生にはいずれかのゼミナールに所属し、卒業研究か卒業論文を仕上げる必要がある。4年次第2期ではゼミナールで <u>探求する</u> テーマに関して <u>学びを深める</u> 。	
	卒業研究・卒業論文	<u>「卒業研究・卒業論文」の卒業研究とはグループでアプリケーションの作成やデータ分析のシステム構築などに取り組んだ内容を報告書として、卒業論文とは個人で研究論文に取り組み執筆した論文を成果物とする。指導教員による指導を直接受けて、その問題意識、研究テーマの選択、研究方法、研究テーマに応じたデータの収集や取得、データの処理とその解釈、報告書や研究論文の書き方、研究成果のまとめ方、研究成果のプレゼンテーションの仕方など、本格的な研究を進める上での、基本的な作法を学ぶ。卒業研究・卒業論文は大学生活で学んだことの総仕上げである。</u>	

令和4年度 設置計画履行状況報告

追加確認事項別添2 新旧対照表 (シラバス)

- 旧 -

ナンバリング	SEM-412	科目群	専門科目 演習科目群
科目名	ゼミナールⅢ		
必選区分	必修	授業形態	演習
単位	2	履修年次	4
開講期	第1期	曜日・時限	複数クラス開講されるため時間割を確認すること
担当教員	専任教員		
履修前提条件	ゼミナールⅠ・Ⅱの単位を修得済みであること		
授業の目的	ゼミナールは、本学の教育の中で重要な位置を占めている。すなわち、ゼミナールに所属することで、専門領域の研究を、その分野の専門家である指導教員の下で、進めることができる。さらに、その研究の成果を卒業研究・卒業論文としてまとめる際にも、ゼミナールでの発表や教員の指導が重要になってくる。データサイエンス学部の学生にはいずれかのゼミナールに所属し、卒業研究か卒業論文を仕上げる必要がある。4年次第1期ではゼミナールで各自あるいはグループで探求するテーマに関する研究を開始し、論文としてまとめる準備をはじめるとする。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究テーマを見つける。</li> <li>・研究計画を立て、必要に応じて計画を修正できるようになる。</li> <li>・研究計画に合わせて研究を遂行するようになる。</li> <li>・研究論文の書き方を身につける。</li> </ul>		
授業外学修内容・授業外学修時間数	授業外学修内容：適宜、各自の研究に必要な関連文献を探し、読む。各自、能動的に研究を進める。 授業外学修時間：60時間以上		
授業計画	【第1回】「ゼミナールⅢ」の進め方の概要説明 【第2回】研究テーマの探索 【第3回】研究計画の策定 【第4回】研究方法の確認 【第5回】研究の実施および計画の確認と修正1（議論） 【第6回】研究の実施および計画の確認と修正2（整理） 【第7回】研究の実施および計画の確認と修正3（修正） 【第8回】研究の実施1（仮説） 【第9回】研究の実施2（検証） 【第10回】研究の実施3（考察） 【第11回】中間報告（議論） 【第12回】中間報告（整理） 【第13回】中間報告（修正） 【第14回】リフレクション 【第15回】まとめ		
成績評価の方法	取り組み姿勢（30%）と課題（70%）で成績を評価する。成績評価にはルーブリックを用いる。		
フィードバックの内容	講義中に、教員と学生の間で双方向に意見を交換し、学生の研究の遂行をサポートする。		
教科書	授業時に資料を配付する。		
指定図書	各回の授業時に紹介する。		
参考書	適宜指示する。		
教員からのお知らせ	授業には積極的に参加すること。		
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は学部学科に定めるオフィスアワーにて対応します。		
その他			
参考URL			

- 新 -

ナンバリング	SEM-412	科目群	専門科目 演習科目群
科目名	ゼミナールⅢ		
必選区分	必修	授業形態	演習
単位	2	履修年次	4
開講期	第1期	曜日・時限	複数クラス開講されるため時間割を確認すること
担当教員	専任教員		
履修前提条件	ゼミナールⅠ・Ⅱの単位を修得済みであること		
授業の目的	ゼミナールは、本学の教育の中で重要な位置を占めている。すなわち、ゼミナールに所属することで、専門領域の研究を、その分野の専門家である指導教員の下で、進めることができる。さらに、その研究の成果を卒業研究・卒業論文としてまとめる際にも、ゼミナールでの発表や教員の指導が重要になる。データサイエンス学部の学生にはいずれかのゼミナールに所属し、卒業研究もしくは卒業論文を仕上げる必要がある。4年次第1期では探求するテーマに関する研究について学ぶ。		
到達目標	先行研究の整理と分析を進め、研究テーマや研究の進め方を理解する。		
授業外学修内容・授業外学修時間数	授業外学修内容：適宜、各自の研究に必要な関連文献を探し、読む。各自、能動的に先行研究の整理を進める。 授業外学修時間：60時間以上		
授業計画	【第1回】「ゼミナールⅢ」の進め方の概要説明 【第2回】研究とモラル 【第3回】先行研究の整理と分析1 研究の探索 【第4回】先行研究の整理と分析2 研究テーマと研究目的の理解 【第5回】先行研究の整理と分析3 研究テーマと研究目的の分析 【第6回】先行研究の整理と分析4 研究方法の理解 【第7回】先行研究の整理と分析5 研究方法の分析 【第8回】先行研究の整理と分析6 考察の理解 【第9回】先行研究の整理と分析7 考察の分析 【第10回】先行研究の整理と分析8 結論の理解 【第11回】先行研究の整理と分析9 結論の分析 【第12回】先行研究の整理と分析10 結論に関する議論 【第13回】リフレクション 【第14回】「ゼミナールⅣ」に向けて 【第15回】まとめ		
成績評価の方法	取り組み姿勢（30%）と課題（70%）で成績を評価する。成績評価にはルーブリックを用いる。		
フィードバックの内容	講義中に、教員と学生の間で双方向に意見を交換し、学生の研究の遂行をサポートする。		
教科書	授業時に資料を配付する。		
指定図書	各回の授業時に紹介する。		
参考書	適宜指示する。		
教員からのお知らせ	授業には積極的に参加すること。		
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は学部学科に定めるオフィスアワーにて対応します。		
その他			
参考URL			



ナンバリング	SEM-412	科目群	専門科目 演習科目群
科目名	ゼミナールⅣ		
必選区分	必修	授業形態	演習
単位	2	履修年次	4
開講期	第2期	曜日・時限	複数クラス開講されるため時間割を確認すること
担当教員	専任教員		
履修前提条件	ゼミナールⅠ・Ⅱの単位を修得済みであること		
授業の目的	ゼミナールは、本学の教育の中で重要な位置を占めている。すなわち、ゼミナールに所属することで、専門領域の研究を、その分野の専門家である指導教員の下で、進めることができる。さらに、その研究の成果を卒業研究・卒業論文としてまとめる際にも、ゼミナールでの発表や教員の指導が重要になってくる。データサイエンス学部の学生にはいずれかのゼミナールに所属し、卒業研究か卒業論文を仕上げる必要がある。4年次第2期ではゼミナールで各自あるいはグループで探求するテーマに関して卒業研究あるいは卒業論文のかたちでまとめ提出する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究計画に合わせて研究を遂行できるようになる。</li> <li>・研究成果を卒業研究あるいは卒業論文のかたちにまとめる。</li> </ul>		
授業外学修内容・授業外学修時間数	授業外学修内容：各自、能動的に研究を進める。卒業論文やプレゼンテーション資料の作成を行う。 授業外学修時間：60時間以上		
授業計画	【第1回】「ゼミナールⅣ」の進め方の概要説明 【第2回】進捗状況の報告と確認 【第3回】研究の実施および計画の確認と修正1（議論） 【第4回】研究の実施および計画の確認と修正2（整理） 【第5回】研究の実施および計画の確認と修正3（修正） 【第6回】中間発表・全体討論1（Aグループ） 【第7回】中間発表・全体討論2（Bグループ） 【第8回】論文構成の確認1（目次等） 【第9回】論文構成の確認2（研究目的等） 【第10回】初稿の提出とフィードバック1（Aグループ） 【第11回】初稿の提出とフィードバック2（Bグループ） 【第12回】完成稿の提出 【第13回】リフレクション（自己評価） 【第14回】リフレクション（相互評価） 【第15回】まとめ		
成績評価の方法	取り組み姿勢（30%）と課題（70%）で成績を評価する。成績評価にはルーブリックを用いる。		
フィードバックの内容	講義中に、教員と学生の間で双方向に意見を交換し、学生の研究の遂行や論文、プレゼンテーション資料の作成をサポートする。		
教科書	授業時に資料を配付する。		
指定図書	各回の授業時に紹介する。		
参考書	適宜指示する。		
教員からのお知らせ	授業には積極的に参加すること。		
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は学部学科に定めるオフィスアワーにて対応します。		
その他			
参考URL			

ナンバリング	SEM-412	科目群	専門科目 演習科目群
科目名	ゼミナールⅣ		
必選区分	必修	授業形態	演習
単位	2	履修年次	4
開講期	第2期	曜日・時限	複数クラス開講されるため時間割を確認すること
担当教員	専任教員		
履修前提条件	ゼミナールⅠ・Ⅱの単位を修得済みであること		
授業の目的	ゼミナールは、本学の教育の中で重要な位置を占めている。すなわち、ゼミナールに所属することで、専門領域の研究を、その分野の専門家である指導教員の下で、進めることができる。さらに、その研究の成果を卒業研究・卒業論文としてまとめる際にも、ゼミナールでの発表や教員の指導が重要になる。データサイエンス学部の学生にはいずれかのゼミナールに所属し、卒業研究もしくは卒業論文を仕上げる必要がある。4年次第2期ではゼミナールで探求するテーマに関して <u>学びを深める。</u>		
到達目標	研究計画に合わせて研究を遂行できる知識を得る。 研究成果をまとめるための知識を得る。		
授業外学修内容・授業外学修時間数	授業外学修内容：各自、能動的に研究を進める。輪読のプレゼンテーション資料の作成を行う。 授業外学修時間：60時間以上		
授業計画	【第1回】「ゼミナールⅣ」の進め方の概要説明 【第2回】研究とモラル 【第3回】論文の読解・批評1 優れたと論文を知る 【第4回】論文の読解・批評2 テーマ 【第5回】論文の読解・批評3 プロット 【第6回】論文の読解・批評4 論文の構造 【第7回】中間考査 【第8回】論文の輪読 グループワーク1 Aグループ 【第9回】論文の輪読 グループワーク2 Bグループ 【第10回】論文の輪読 グループワーク3 Cグループ 【第11回】論文の輪読 グループワーク4 Dグループ 【第12回】リフレクション 自己評価 【第13回】リフレクション 相互評価 【第14回】卒業に向けて、 【第15回】まとめ		
成績評価の方法	取り組み姿勢（30%）と課題（70%）で成績を評価する。成績評価にはルーブリックを用いる。		
フィードバックの内容	講義中に、教員と学生の間で双方向に意見を交換し、学生のプレゼンテーション資料の作成をサポートする。		
教科書	授業時に資料を配付する。		
指定図書	各回の授業時に紹介する。		
参考書	適宜指示する。		
教員からのお知らせ	授業には積極的に参加すること。		
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は学部学科に定めるオフィスアワーにて対応します。		
その他			
参考URL			

ナンバリング	GTS-411	科目群	専門科目 演習科目群
科目名	卒業研究・卒業論文		
必選区分	必修	授業形態	講義
単位	4	履修年次	4
開講期	通年	曜日・時限	複数クラス開講されるため時間割を確認すること
担当教員	専任教員		
履修前提条件	ゼミナールⅠ・Ⅱの単位を修得済みであること		
授業の目的	卒業論文は、ゼミナールに所属するメンバーが個人で取り組む研究であり、卒業研究はゼミナールに所属する複数のメンバーが共同で取り組む研究である。指導教員による指導を直接受けて、その問題意識、研究テーマの選択、研究方法、研究テーマに応じたデータの収集や取得、データの処理とその解釈、研究論文の書き方、研究成果のまとめ方、研究成果のプレゼンテーションの仕方など、本格的な研究を行う上での、基本的な作法を学ぶ。卒業論文は大学生活で学んだことの総仕上げである。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究テーマを設定し、研究計画を立てることができるようになる。</li> <li>・研究目的を達成するために、能動的に研究を遂行できるようになる。</li> <li>・研究成果を、論文としてまとめることができるようになる。</li> <li>・他者に対して研究成果についてわかりやすくプレゼンテーションすることができるようになる。</li> </ul>		
授業外学修内容・授業外学修時間数	授業外学修内容：卒業研究・卒業論文を完成させるためには、授業外にも早津行研究・卒業論文について能動的に考え、自発的に研究および論文やプレゼンテーション資料の作成を実施する必要がある。授業外学修時間：120 時間以上		
授業計画	<p>【第 1 回】研究テーマの設定                  【第 2 回～第 3 回】研究計画に関する議論                  【第 4 回～第 2 0 回】研究の進捗状況発表および議論                  【第 2 1 回～第 2 7 回】卒業研究・卒業論文の作成指導                  【第 2 8 回～第 3 0 回】卒業研究・卒業論文の口頭発表指導</p>		

ナンバリング	GTS-411	科目群	専門科目 演習科目群
科目名	卒業研究・卒業論文		
必選区分	必修	授業形態	講義
単位	4	履修年次	4
開講期	通年	曜日・時限	複数クラス開講されるため時間割を確認すること
担当教員	専任教員		
履修前提条件	ゼミナールⅠ・Ⅱの単位を修得済みであること		
授業の目的	<p>「卒業研究・卒業論文」については学生が主体的に取り組み作成した成果物を評価する科目である。「卒業研究・卒業論文」の卒業研究とはグループでアプリケーションの作成やデータ分析のシステム構築などに取り組んだ内容を報告書として、卒業論文とは個人で研究論文に取り組み執筆した論文を成果物とする。</p> <p>卒業論文は、ゼミナールに所属するメンバーが個人で取り組む研究であり、卒業研究はゼミナールに所属する複数のメンバーが共同で取り組む研究である。指導教員による指導を直接受けて、その問題意識、研究テーマの選択、研究方法、研究テーマに応じたデータの収集や取得、データの処理とその解釈、報告書や研究論文の書き方、研究成果のまとめ方、研究成果のプレゼンテーションの仕方など、本格的な研究を進める上での、基本的な作法を学ぶ。卒業研究・卒業論文は大学生活で学んだことの総仕上げである。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究テーマを設定し、研究計画を立てる。</li> <li>・研究目的を達成するために、能動的に研究を遂行できる。</li> <li>・研究成果を、報告書もしくは論文としてまとめる。</li> <li>・他者に対して研究成果についてわかりやすくプレゼンテーションする。</li> </ul>		
授業外学修内容・授業外学修時間数	授業外学修内容：卒業研究・卒業論文に関連する文献を調べ、データの収集や分析などの作業を進める。卒業研究・卒業論文を完成させるためには、能動的に考え、自発的に研究および論文の作成を実施する必要がある。授業外学修時間：120 時間以上		
授業計画	<p>【第 1 回】イントロダクション&amp;オリエンテーション                  【第 2 回】「卒業研究・卒業論文」の進め方の概要説明 1                  【第 3 回】「卒業研究・卒業論文」の進め方の概要説明 2                  【第 4 回】指導計画書作成 1                  【第 5 回】指導計画書作成 2                  【第 6 回】指導計画書作成 3                  【第 7 回】研究の進捗発表および議論 1                  【第 8 回】研究の進捗発表および議論 2                  【第 9 回】合同発表会準備 1                  【第 10 回】合同発表会準備 2                  【第 11 回】各研究領域の合同発表会 1                  【第 12 回】各研究領域の合同発表会 2                  【第 13 回】各研究領域の合同発表会 3                  【第 14 回】各研究領域の合同発表会 4                  【第 15 回】中間審査                  【第 16 回】リフレクション                  【第 17 回】研究の進捗発表および議論 1                  【第 18 回】研究の進捗発表および議論 2                  【第 19 回】研究の進捗発表および議論 3                  【第 20 回】報告書・論文作成の指導 1                  【第 21 回】報告書・論文作成の指導 2                  【第 22 回】報告書・論文の口頭発表指導                  【第 23 回】卒業研究・卒業論文発表大会 1                  【第 24 回】卒業研究・卒業論文発表大会 2</p>		

授業計画	
成績評価の方法	取り組み姿勢(20%), 論文の完成度 (70%), 口頭発表 (10%) で成績を評価する。 成績評価にはルーブリックを用いる。
フィードバックの内容	随時, 研究指導を行う。
教科書	授業時に資料を配付する。
指定図書	各回の授業時に紹介する。
参考書	適宜指示する。
教員からのお知らせ	授業には積極的に参加すること。
オフィスアワー その他	本授業に関する質問・相談は学部学科に定めるオフィスアワーにて対応します。
参考URL	

授業計画	<u>【第25回】卒業研究・卒業論文発表大会 3</u> <u>【第26回】卒業研究・卒業論文発表大会 4</u> <u>【第27回】卒業研究・卒業論文発表大会 5</u> <u>【第28回】リフレクション 自己評価</u> <u>【第29回】リフレクション 相互評価</u> <u>【第30回】まとめ</u>
成績評価の方法	提出された卒業研究・卒業論文 (80%), 取り組み姿勢 (10%), 口頭発表 (10%) で成績を評価する。 成績評価にはルーブリックを用いる。
フィードバックの内容	提出された課題を添削し返却する。
教科書	適宜配付する。
指定図書	適宜指示する。
参考書	適宜指示する。
教員からのお知らせ	
オフィスアワー その他	本授業に関する質問・相談は学部学科に定めるオフィスアワーにて対応します。
参考URL	